

縮尺 20 万分の 1

土地分類図付属資料

(滋 賀 県)

昭 和 5 0 年

国 土 庁 土 地 局



縮尺20万分の1土地分類図付属資料

目 次

利用者のために

A 土地条件等の概要の部

1. 地形区分とその性状等の概要	1
2. 表層地質の分布とその性状等の概要	6
3. 土壌統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要	12
4. 土地利用可能性分級等の概要	21
4-1 土地利用現況の概要	21
4-2 土地利用可能性分級の地域別の概要	21

B 統計の部

1. 土地利用現況	24
1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳（県統計資料による）	24
1-2 D. I. D. おおむね10万人以上の都市の 土地利用現況の内訳（県統計資料による）	28
2. 自然的土地条件	29
2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳	29
2-2 標高区分別面積市町村別内訳	31
2-3 地形区分別面積市町村別内訳	33
2-4 表層地質分布面積市町村別内訳	38
2-5 土壌統群分布面積市町村別内訳	42
3. 土地利用可能性分級	46
3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳	46
3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連	48
3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連	48
3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連	48
3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連	48
3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連	48
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要	50
3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳	52

利用者のために

1. 編集方針

この附属資料は縮尺20万分の1土地分類図についての概要説明と面積統計とに分けられるが、面積統計については、原則としてそれぞれの縮尺20万分の1土地分類図の統計項目に対応した図幅について面積を測定し製表作成した。

たとえば2-1表「傾斜区分別面積市町村別内訳」は「傾斜区分図」（オーバーレイ）を市町村の行政区画単位に面積測定して作成したものであり、3-2-1表「土地利用可能性分級と地形区分との関連」は「土地利用可能性分級図」および「地形分類図」を用い、前者においては、土地利用可能性分級である類地のパターンを、後者においては地形区分のパターンをそれぞれ重ねあわせて面積を測定し、両者の面積の関連を把握して作成したものである。

ただし、1-2表「D. 1. D. おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳」は対応した土地分類図を作成しなかったため統計資料等によって作成した。

なお、1-1表「土地利用現況別面積市町村別内訳」は県の統計資料により作成した。

以上両者の関連を示すと次表のとおりである。

統計表作成のために使用した土地分類図等の一覧

土地分類図等の名称 統計表の名称	1 地形分類図	2 起伏量・谷密度図	3 傾斜区分図	4 表層(平面図的)分類図	5 表層(垂直的)分類図	6 土壌図	7 土壌生産力可能性等級区分図	8 土(土地利用可能性分級)図	9 土地利用可能性分級図	10 標高区分図	11 都道府県統計資料等
1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳											○
1-2 D. 1. D. おおむね10万人以上の土地利用現況の内訳											○
2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳			○								
2-2 標高区分別面積市町村別内訳										○	
2-3 地形区分別面積市町村別内訳	○										
2-4 表層地質分布面積市町村別内訳				○							
2-5 土壌統群分布面積市町村別内訳						○					
3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳									○		
3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連	○								○		

土地分類図等の名称 統計表の名称	1 地形分類図	2 起伏量・谷密度図	3 傾斜区分図	4 表層地質図 (平面的分類図)	5 表層地質図 (垂直的分類図)	6 土壌図	7 土壌生産力可能性等級区分図	8 土地利用可能性分級図 (土地利用現況図)	9 土地利用可能性分級図	10 標高区分図	11 都道府県統計資料等
3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連			○						○		
3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連									○	○	
3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連							○		○		
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳									○		○

II 利用上の留意事項

土地分類図の各図から測定された項目別パターンの面積は、各図の図示表現の技術的な制約、すなわち縮尺20万分の1の土地分類図の場合には、最少図示単位として1km²（図上では5mm四方）を原則とし、特殊な場合においても最小径400m（図上で2mm）を限度としたため、実在の面積とは一致しない場合もあると考えられる。

とくに、パターンの小さい性格をもつ分類項目にあっては、やや少な目に数値が出る傾向がある。また道路河川等はその周辺の分類に含まれるのでやや大き目に数値が出る傾向がある。

したがって、この統計表を各種資料として使用する場合には、項目ごとの絶対値を使用するのではなく、概括的把握ないし項目の構成比率等を用いるようにされたい。

III 表中の記号について

- 「0」は数値が掲載単位に満たないもの
- 「-」は該当事項のないもの
- 「 」空白は編集時において資料がなく不明のもの

IV 県統計等の資料について

各表の該当箇所（欄外）に記載

V 調査機関一覧表

	機 関 名	所 在 地
総 括	滋賀県企画部企画調整課	大津市京町4-1-1 (TEL. 0775-24-1121)
地形分類	滋賀大学教育学部	大津市平山平津町197 (TEL. 0775-37-0081)
表層地質	岐阜教育大学	岐阜市鷺3700番地 (TEL. 0582-79-0804)
土 壤	滋賀県農林部林務課	大津市京町4-1-1 (TEL. 0775-24-1121)
	滋賀県立農業試験場	蒲生郡安土町大字大中614 (TEL. 074846-3081)
	滋賀県農林部耕地指導課	大津市京町4-1-1 (TEL. 0775-24-1121)
土地利用現況	土壤に同じ	
土地利用可能性分級	土壤に同じ	

A . 土地条件等の概要の部

1. 地形区分とその性状等の概要

滋賀県は、地体構造のうえでは全域が西南日本内帯に属し、第三紀鮮新世以降活発化した「六甲変動」と総称される地殻変動が卓越する「近畿三角帯」の北東端に位置している。この地殻変動によって形成された湖盆に帯水したのが琵琶湖で、南北性の卓越する山地が周囲をとり巻いている。琵琶湖と山地の間には、帯状に沖積低地と丘陵地が配列して近江盆地を形成し、一部の地区を除いては分水嶺が県境を画している。このため県内の河川はほとんどすべてが琵琶湖に流入し、琵琶湖の水は唯一の流出河川である瀬田川を通じて大阪湾に排水されている。

琵琶湖は、南北68km、東西の最大幅22.6km、湖岸線の延長235km、湖面標高84.4m、最大水深103.4mを計り、その面積675km²は滋賀県総面積の約6分の1を占める。琵琶湖の周辺には湖北・湖東・湖南・湖西の各沖積低地が分布し、流入河川による沖積作用の活発な東岸では、西岸に比してその発達が顕著である。湖東・湖南・湖西低地の背後には、鮮新世末期から更新世にかけて堆積した古琵琶湖層群からなる丘陵地がひろがり、湖南地方ではその分布がはるかに南方までのびて三重県との境界を越え、上野盆地にまで達している。山地は主として秩父古生層および中生代中期以降そこへ貫入した花崗岩からなり、そのほとんどが「近畿三角帯」北東端における「六甲変動」を特色付ける南北方向の断層運動によって形成された地壘山地で、南北性の走行を示している。

1-1 山 地

1-1-1 湖北山地

湖北地方の山地はその大部分が秩父古生層から構成され、「近畿三角帯」の地殻変動が収斂する北東端にあたるため、激しい構造運動を受けている。県域の北東部を限る伊吹山地は、両白山地の西端にあたり、柳ヶ瀬断層が西縁を画している。高時川・杉野川・草野川・姉川等の河谷が古生層地帯に深いV字谷を刻み、山地の主部は大起伏の壮年期山地を呈しているが、姉川源流の伊吹町甲津原地区は諸岡花崗岩からなり、中起伏山地となっている。主峰伊吹山は標高1,377mあり、県下の最高峰で、石灰岩を主とする古生層よりなり、山頂付近は小規模ながらカレンフェルトを示す一方、山腹では石灰岩が採掘されてセメント工業の原料となっている。県北部で福井県との境界を画す江若山地は、東端を柳ヶ瀬断層、西端を熊川断層によって画され、その間を数本の南北走する断層に切刻まれて、南北性の傾動地塊や地壘山地が平行している。その南端は賤ヶ岳、葛籠尾崎、海津大崎となって琵琶湖北岸へ半島状に突出し、断層谷は塩津湾、大浦湾、海津湾の湾入となって湖北の秀景を生み出している。他方、箱館山には前輪廻の山頂平坦面が残存し、そこにスキー場が開かれている。伊吹山地と鈴鹿山脈の間を東西にのびる関ヶ原低地帯には標高200~300mの山東山地が分布し、湖北平野には虎御前山(220m)などの小山地が島状に浮んでいる。

1-1-2 湖東山地

湖東山地の主体をなす鈴鹿山脈は三重県との県境を画して南北走し、西方に傾斜しながら隆起したスラスト性の地壘山地である。このため三重県側へは急傾斜しているのに対して、近江盆地に向っては比較的緩斜しつつ低下していく。稜線には北部より霊仙山(1,084m)、御池岳(1,242m)、藤原岳(1,143m)、御在所岳(1,210m)などの山頂を連ね、標高1,000m前後には準平原遺物と思われる山頂小起伏面が認められるが、全体として滋賀県側では中起伏山地が卓越している。山地の大部分は秩父古生層からなるが、南半部稜線附近には中生代末に貫入してきたとされる花崗岩地域がひろがり、中央部西縁の角井峠附近は石英斑岩、花崗斑岩から構成されている。北部の古生層中には石灰岩地域がみられ、霊仙山、

御池岳附近では山頂の小起伏面上にドリーネやカレンフェルトなどのカルスト地形を発達させ、山麓にも「河内の風穴」などの石灰洞がある。一方、南端の野洲川源流地域は第三紀中新統に属する鮎川層群からなり、小起伏山地となっている。

このほか、湖東地方では、佐和山（233m）、荒神山（280m）、織（^{きしがほ}観音寺）山（433m）、箕作山（380m）、長命寺山（328m）、鶴翼山（284m）、岡山（188m）、瓶割山（234m）、雪野山（309m）、鏡山（385m）、三上山（425m）などの小起伏山地が、沖積低地や丘陵地の中に島状に浮んでおり、湖中の沖ノ島（220m）もこの範疇に入る。これらの島状山地は古生層や石英斑岩、流紋岩など岩質的に硬い地質からなり、かつてこの地域が侵食されていた時期に、その侵食から取り残された残丘と考えられている。

1-1-3 湖南山地

湖南地方の山地は、花崗岩を主体として全域が小起伏山地に含まれる信楽高原と、大部分が秩父古生層からなる醍醐・比叡の両山地とに大別される。信楽高原は近江盆地と上野盆地を分離する位置にあり、400m前後と600m前後との2面の山頂小起伏面が発達している。その間を大戸川、信楽川の本支流が複雑な河系模様をつくって侵食しており、北部と東部では草津川、野洲川の支流も侵入して浅い谷を刻んでいる。信楽高原を構成する花崗岩は風化が進んでマサ化しており、土砂の流出が激しいため、ここから流出する河川は下流で天井川を形成している。他方、山地では、古代～近世に瀬田川による木材搬出の便を利用して森林が乱伐されたため、その後は植生の回復が妨げられ、明治以降近代的な植林事業が行われたにもかかわらず、なお北半部の^{たなかみ}太神（田上）山附近や阿星山附近には悪地地形が目立っている。

醍醐・比叡の両山地は、それぞれ近江盆地と山科盆地および京都盆地北部を分離する地壘山地で、醍醐山地の音羽山（593m）、比叡山地の四明岳（848m）、三石山（676m）山頂附近は中起伏山地に含まれるものの、その縁辺部は小起伏山地となっている。比叡山地では北部の四明岳と南部の如意ヶ岳（480m）の間に花崗岩が貫入しており、この部分は差別侵食をうけて標高300～400mの小起伏面を形成している。最近はここに住宅地やゴルフ場の開発が進められている。

1-1-4 湖西山地

湖西地方の山地は、花折断層を境に比良山地と朽木山地に分けられる。比良山地は東西幅3～10km、南北約15kmの北部に広く南部に狭い地壘山地で、東西両側を急崖で限られて、この部分が大起伏山地となっている。武奈ヶ岳（1214m）と蓬萊山（1174m）がそれぞれ北部と南部の最高点を示し、その周辺には標高1000m前後に準平原遺物と思われる小起伏平坦面を有し、八雲ヶ原の高層湿原も存在している。この平坦面は花折断層を隔てて隣接する丹波山地の平坦面より100～200m高く、比良山地の部分の隆起量がより大きかったことを示している。比良山地の東半部は黒雲母花崗岩からなり、琵琶湖に面する急斜面の稜線付近を中心として崩壊地が数多く分布するのに対して、秩父古生層の西半部ではほとんど崩壊地がみられない。

朽木山地は、西方にひろがる丹波高原の東端にあたり、秩父古生層からなっている。山地は標高800～900mの定高性を示し、安曇川河谷に臨む一部が大起伏山地に属するのを除いて、ほとんど全域が中・小起伏山地となっている。山地中には安曇川の支流である針畑川、北川、麻生川が嵌入蛇行して、狭長な谷底平野を形成している。

1-2 丘陵地

1-2-1 湖北丘陵

湖北地方では、伊吹山地と鈴鹿山脈の間を東西にのびる関ヶ原低地帯の中央部、伊吹山の南麓に、砂礫段丘（上位）に分類される小起伏の伊吹丘陵がみられるのみである。この丘陵は最高点の標高320m、面積約2km²の小さなもので、西麓に伊吹町大清水の集落が立地し、南西流して琵琶湖に注ぐ天野川上流域と、南東流して牧田川・揖斐川に合して伊勢湾に注ぐ藤古川流域との分水を画している。

1-2-1 湖東丘陵

湖東地方の鈴鹿山脈西麓には、標高100~300mの広大な丘陵地が広がっている。この丘陵地は鮮新世末期から更新世にかけて古琵琶湖の湖底に堆積した粘土や砂礫層が地殻変動を受けて変位し、古琵琶湖の水位が低下したことによって乾陸化した結果形成されたもので、その構成層は古琵琶湖層群と呼ばれている。最大のもは鈴鹿山麓の土山町西部から野洲川東部までのびる水口丘陵で、東西約24km、南北の最大幅約8kmに達する。その北側には、日野川、佐久良川の谷を隔てて日野丘陵、布引丘陵が配列し、犬上川の谷口付近には多賀丘陵がみられる。水口丘陵南東部や日野丘陵、布引丘陵の先端部には上位段丘が分布する。これらの丘陵地には樹枝状の開析谷が発達し、谷底には細長く谷田が開かれている。一方、起伏量が小さく、地質的に土工が容易であるうえ、近年は道路網も整備されてきていることから、近年は工場団地や住宅団地、ゴルフ場などの開発がさかんである。

1-2-3 湖南丘陵

信楽高原と鈴鹿山脈との間、野洲川以南の地域にひろがる丘陵地は標高200~300mの小起伏を示し、杣川を境に北部の甲賀丘陵と南部の甲南丘陵に2分され、後者は県境を越えて上野盆地北東部に続いている。信楽高原の北縁に付着する瀬田・栗東丘陵は、信楽高原に接する南東部分では標高約300mに達する所もあるが、一般的には標高200m前後の所が多く、北西へ向って次第に高度を下げ、大戸川下流の地溝状低地によって信楽高原から分離されて半島状に突出する瀬田丘陵では、最高点でも標高180mにすぎない。この丘陵を構成する古琵琶湖層群は主として北々西へ緩く単斜する砂礫層からなり、これに必従する多くの小河川によって開析されている。丘陵の北西縁には砂礫段丘（上位）に分類される段丘面が付着している。このほか、信楽高原中の信楽盆地や朝宮地区にも丘陵地がみられ、瀬田川に臨む信楽高原西麓にも細長く丘陵が付着し、瀬田川南岸の曾東地区には京都府宇治田原から丘陵地がのびてきている。

一方、琵琶湖西岸では、比叡山地北部の東麓に堅田丘陵が紡錘形状にひろがり、丘陵面は全体として東に緩斜するとともに、北に高く南ほど低くなっている。堅田丘陵東端の崖は逆断層をともなう撓曲によって生じたもので比高20~40mを計り、丘陵を刻んで東流する和逆川、真野川の河谷には数段の河岸段丘が形成されている。大津市街地背後の醍醐山地北東麓には丘陵地と砂礫段丘（上位）が帯状に付着しており、これを膳所・石山丘陵とした。

湖南地方の丘陵地では近年各種の開発による地形の人工改変が進み、ことに交通の便が良い膳所・石山丘陵、瀬田・栗東丘陵に著しく、堅田丘陵でも大規模なニュータウンの建設が進められている。

1-2-4 湖西丘陵

湖西地方には泰山寺野、饗庭野の両台地があり、標高200~250mの台地面は砂礫段丘（上位）に、それを取り巻く傾斜地は丘陵地に分類される。この両台地を構成する古琵琶湖層群は、湖西地方を走る数本の断層によって変位を受け、それが安曇川の本支流によって深く侵食されているため、県下の丘陵地ではただひとつ100m以上の起伏量を示す大起伏丘陵地となっている。台地面および周辺の段丘は数段に区分され、平坦な上位段丘面がひろがる饗庭野台地は戦後の食糧増産期に開拓入植されたが、現在ではその

大部分が自衛隊の演習場になっている。

1-3 低地

1-3-1 湖北低地

湖北地方の低地は、姉川をはじめとする諸河川の沖積作用によって琵琶湖北東岸に形成された湖北平野と、柳ヶ瀬断層に沿って形成された断層線谷である余呉川河谷、および関ヶ原低地帯の一部に相当する山東盆地に大別される。湖北平野は標高100mの等高線附近を境に扇状地性低地と三角州性低地に区分されるが、その境界は漸移的で必ずしも明瞭ではなく、両者ともに古くから水田化されていて条里制の遺構がよく残されている。姉川・高時川下流の現・旧流路沿いには自然堤防が発達し、主として桑畑に利用されている。湖岸には砂州がづらなり、かつては早崎・大郷・入江の内湖をかかえていたが、いずれも現在では干拓されてしまっている。余呉川河谷は伊吹山地と江若山地の間を直線的に刻み、伊吹山地側には小規模な複合扇状地が連っているが、江若山地側の谷間には埋積の遅れた低湿地がみられ、まだ陸化していない部分が余呉湖として残されている。その他琵琶湖北岸の塩津湾、大浦湾の湾奥にも小さな低地が分布している。山東盆地は関ヶ原低地帯に散在する島状の小起伏山地の間に介在する低地群の総称で、北東部の伊吹山南麓には弥高川によって比較的急傾斜の扇状地が形成され、北西部の姉川南岸にはかつて谷口からそのまま南流していたと推定される旧姉川の扇状地堆積物が段丘化している一方、南部の天野川沿岸には排水の悪い低湿地がみられる。

1-3-2 湖東低地

湖東低地は、鈴鹿山脈に源を発して北西流し、琵琶湖に注ぐ芹川・犬上川・宇曾川・愛知川・日野川等の諸河川によって形成された沖積低地で、各河川の谷口付近には砂礫段丘（下位）が、その下流には扇状地性低地が発達し、湖岸には三角州性低地が拡がって、近江盆地最大の低地となっている。砂礫段丘（下位）は愛知川・日野川とその支流佐久良川の沿岸に発達が顕著であるが、ことに愛知川の谷口からその両岸に拡がるものは八日市台地と総称されている。これは愛知川によって形成された旧扇状地が鈴鹿山脈の隆起にもなう基盤の傾動運動によって段丘化したもので、段丘面はよく保存されており、谷口から離れるにつれて愛知川河谷との比高を減じて、八日市市街地付近で愛知川の新时期堆積層の下に没するが、箕作山にさえぎられて愛知川の新时期堆積が及ばなかった八日市西部ではさらに下流までのびており、この地区は古来蒲生野と呼ばれてきた。扇状地性低地は愛知川流域以北でも日野川流域でも100m等高線附近までひろがり、その傾斜はきわめて緩く、三角州性低地とは漸移している。愛知川河谷や宇曾川・犬上川扇状地の扇頂部附近の全面的開発は中世以降まで持ちこされたが、その他の部分には条里制土地割が残存して開発の古いことを物語っている。日野川河谷を流れる諸河川は、水源の古琵琶湖層群丘陵地からの土砂流出が激しいため天井川を形成している。三角州性低地は標高約100m以下にひろがり、愛知川の現・旧河道沿いには自然堤防の発達が著しいが、日野川沿いには大きなものはみられない。湖東平野には島状山地が散在し、それらのかげには埋め残し性の低湿地がみられ、湖岸には大中の湖をはじめとする多くの内湖が形成されていた。しかしこれらの内湖は第2次世界大戦末期以降あいついで干拓され、現在では曾根沼の一部と西之湖、それに大中の湖干拓地の承水路として残されている伊庭内湖と大中の湖北東縁を残すのみとなっている。湖岸線沿いの三角州性低地先端には砂州が細長く続いている。

1-3-3 湖南低地

湖南地方の低地は湖南平野と野洲川河谷とからなる。湖南平野は琵琶湖南湖の沿岸に形成された沖積低地を主体とし、そのうちもっとも広い部分を占めるのは野洲川の扇状地と三角州である。野洲川扇状地は

石部頭首工附近を扇頂とし、東海道本線附近を扇端とする半径約5 kmの低平な扇状地で、その扇状地礫層は沖積粘土層の下に埋れて湖岸道路（主要地方道336号線）附近までひろがっている。野洲川は、風化の激しい信楽高原の花崗岩地帯や固結度の低い琵琶湖層群丘陵地の水を集めて流下しているため土砂の排出量が大きく、下流部での三角州の成長が早い。このため野洲川北流・同南流および旧流路沿いには自然堤防が形成され、河口には分岐州が発達して湖岸線の屈曲を大きくしている。ことに南流の分岐州先端は対岸堅田との間に幅わずか1.7 kmにすぎない狭隘部をつくって、琵琶湖を南湖と北湖に分けている。江戸時代には新しく形成された三角州先端部にいくつかの新田が開かれた。湖南平野を流れる河川の多くは著しく天井川化しており、東海道本線および国道1号線が河床の下をトンネルでくぐっている草津川の天井川はよく知られている。

野洲川河谷は水口丘陵と信楽高原の間に細長くのびる野洲川中流の河谷で、水口附近以東では野洲川本流沿いと支流杣川沿いの河谷に分れ、前者は水口丘陵と甲賀丘陵を、後者は甲賀丘陵と甲南丘陵を分っている。この河谷中には数段の河岸段丘（下位）が形成されており、水口附近より上流の野洲川、杣川の河谷に発達が著しい。また、南湖の湖岸では昭和33年以降、大津市中の浜・打出浜、同におの浜、同瀬田浦、守山市木ノ浜地区などで大規模な埋立地が造成されてその総面積は226.1 haに達し、草津市矢橋沖では現在も67 haの埋立工事が進められている。

1-3-4 湖西低地

湖西地方の低地は、安曇川・鴨川・石田川などの河川によって形成された湖西平野と、比良山地東麓の複合扇状地、それに花折断層に沿って北流する安曇川がつくった朽木谷とに分けられる。湖西平野は饗庭野台地が突出する今津町南端を境に北部と南部に分けられ、北部は知内川・百瀬川・石田川などの河川によって形成された複合扇状地とその前面の三角州性低地からなり、石田川の谷口には段丘化した旧扇状地がみられる一方、湖岸には松林が断続する砂州が続いている。これに対して南部は安曇川によって形成された典型的なデルタファンで、網状河流と自然堤防帯、デルタ帯が系統的に配列し、湖岸には砂州が発達している。この平野の南端には比良山地北部の花崗岩地域から流出する鴨川が三角州性低地を形成しており、鴨川下流部は天井川化している。

比良山麓の複合扇状地は比良山地東面の構造的急斜面を流下する諸河川によって形成されたもので、その勾配は大きく、近江舞子など一部の地区を除いては扇状地が直接湖岸に達している。この扇状地は最近まで一面の雑木林におおわれていたが、昭和49年開通の湖西線建設と歩調を合せて別荘地などの開発が進み、人工改変地が急速に拡大している。朽木谷は比良山地と朽木山地を分ける花折断層にそって形成された典型的な断層線谷で、谷底部には狭小ではあるが連続性のよい河岸段丘が発達している。

小林健太郎（滋賀大学教育学部）

2. 表層地質の分布とその性状等の概要

2-1 表層地質の平面的分布について

西南日本を内帯と外帯に分ける中央構造線は、近畿地方では伊勢湾から陸地に入り伊勢市から橿田川の北をかすめ紀伊半島を横断して紀ノ川に沿って和歌山市に延びている。地質岩石上から内帯と外帯では著しい違いがあって、それぞれの特徴をそなえている。

滋賀県の地質は内帯に属し県の基盤をなす秩父古生層は、湖の周りに広く分布し花崗岩はこれを買入して各地に露出している。

新生代の地層は鈴鹿山脈の山麓の一部に、次いで新しい所謂古琵琶湖層は湖を周んで各地に丘陵をなし、就中、湖南地方では甲賀郡まで厚い層をして露われている。

沖積層は特に南に延びて広々とした近江平野を作っている。

2-1-1 地質の概要

2-1-1-1 一般地質

(a) 古生層（主に粘板岩、砂岩、チャートから成り、所によって石灰岩や輝緑凝灰岩を俵在している。）

(b) 第三紀層（新第三紀）

内湾性の堆積層で二枚貝や巻貝の化石、或は植物化石を含み主として砂岩や礫岩からなるが、時には凝灰岩や泥岩を伴う。

(c) 古琵琶湖層

礫、砂、粘土が堆積物で互層をなし地域によっては粘土が厚く発達している。淡水貝や植物化石を含み湖南及び湖西から象の化石が発見された。薄い亜炭層が日野町地域にみられるが稼行率は低い。

(d) 第四紀層

礫、砂、粘土から成り、段丘・台地及び平野をつくる。

2-1-1-2 湖西花折断層

滋賀県の地体構造中、比良山地の西部に安曇川に沿って北北東から南南西に一直線に延びているのが、県下で最も大きい花折断層である。この花折断層は高島郡会津町角川の西に端を発し、櫻峠、市場（東斜面は断層崖）から殆んど一直線をなして南に延び中村に至る。ここから南は狭谷となり附近にケルバットとケルンコルンの地形があり、断層線はケルンコルンを通り花折峠をすぎると和邇川に沿って南下し、途中越を越えて京都市八瀬に向って延びている。花折断層を中心にして東側と西側に於て、岩石相と林相に違いのあるが目立つ。即ち、西側は古生層が丹波山地まで発達しているが、東側では比良、比叡両山地の花崗岩が古生層の岩石に広く露出している。花折断層のできた時代については、多くの学者によって論議されて未だ明かでないが、第四紀の初期に近畿の各地に生じた高角断層の一部であろう。

2-1-1-3 比良山地

比良山系は略北北東から南南西に延び全体としてY字形を示している。この山系の頂部はなだらかで八雲ヶ原など湿地があり、準平原が隆起した結果であろう。又、武奈岳や蓬菜山付近には残丘がみられる。扇状地は山系の東麓に発達し背後から供給された花崗岩や砂岩によって1部は砂浜となる。

古生層の走向は東南のもの西北又は西南と複雑である。風化によって岩塊となったものが急崖をなしている地もある。古生層の岩石は概ね粘板岩、チャート及び砂岩であるが、花崗岩との接触地ではホルンフェルスや硬砂岩となっている。

比良花崗岩には粗粒、細粒と斑状のものがあり、粗粒黒雲母花崗岩は、この岩体の内部に分布し正面谷や大岩谷等に露出している。細粒花崗岩は堂満岳東南陵西部古生層の接触部附近、又は粗粒部や斑状部の一部、或はペグマタイト晶洞の周囲に分布している。比良に大小のペグマタイトが数多く存在している関係もあって、古くから各種の鉱物の産地として学会でも注目していた。例えば、ゼノタイム、カツレン石、コロンブ石、ガドソン石、緑柱石の如き希元素鉱物を初め、日本で福島県の水晶、岐阜県の蛭川について三番目に見つかった阿武隈石などは、代表であろう。

比叡山地を構成する岩石は比良山系と同じように粘板岩、砂岩、チャートから成る古生層と黒雲母花崗岩で、接触地帯は変成作用によるホルンフェルスがみられる。

湖東、湖南地方の古生層に屢々石灰岩を厚く挟んでいるに対して、湖西地方では珍しく僅かに如意ヶ岳の東方及びその他でみられるにすぎない。

如意ヶ岳の五別所、石山寺等の接触地帯では多数の接触鉱物（ザクロ石、堇青石、透輝石等）があり、中でも石山寺の珪灰岩は天然記念物に指定されている。

比叡山花崗岩体は、比叡山花崗岩、山中花崗岩、又は北白川花崗岩等と称せられ、古生層の背斜構造部に進入した岩株と考えられている。而して、アブライトと煌斑岩の小さい脈が北北西—南南東に花崗岩中にみられる外、石英斑岩や花崗斑岩の脈もみられる。

殊に、煌斑岩脈は大津市近江神宮の西方には大小の脈が或いは南東に、或いは北西に露出し、中には表面は全く風化して他の岩石と区別しかねるものも少ない。

琵琶湖の周辺に丘陵をつくる古琵琶湖層群は、鮮新世末から洪積世前期にかけて古琵琶湖に堆積した地層で淡水成層である。主に粘土と砂の互層から成るが、単層の厚さは一定しないが、竜華で試錐した結果では165m以上のものもある。

湖西地方の古琵琶湖層群では、この粘土を南庄粘土と称し、青白色を呈し屢々シルトを含み、又時には火山灰層を挟み青灰色—黄褐色の細砂、中砂と互層をなしている。南庄粘土層の最上部は竜華砂礫層に移化する。南庄粘土層中には淡水貝（多くは現生種であるが、幾分現生のものより大きい。）植物（シリプトシ、モミ、イヌガシ等）の外、所によって藍鉄鉱を伴っている。この粘土層の上部は西方で竜華礫層に移化する。礫層は古生層の岩石に花崗岩を混え、厚さは1.0—0.4mである。

古琵琶湖の頃の扇状地の堆積物は、東で普門砂層、西で伊香立礫層と異り後者は前者の上位にある。砂層は礫、砂、泥から成り、所々に木片を挟み層理が明らかな点で湖で堆積したと考えられるに対し、礫層は礫がいずれも円状を示す点から河成堆積物であろう。

古琵琶湖層は幾多の谷で刻まれ、E—Wに延びる谷の北側ではN25°—35°W、西南部の谷では走向、傾斜E—W、5°—10°、東南部ではN20°—30°E、10°—20°NWと複雑な地形で垂直に近い崩落面から併せ考えると、谷は断層に沿って発達したものと考えられる。丘陵の中央をE—Wに刻む谷が主断層でN—S方向谷を作る断層は基盤岩類の構造運動によって生じた、所謂、琵琶湖ひずみの一環であろう。

今津、高島地方では鴨川、安曇川、石田川が下流に扇状地やデルタを作りつつ、湖に注ぐ。上流には東西約6km、南北5kmの饗庭野、その南に泰山寺野の台地がある。これらの台地の中央部は侵食作用がすすまないで、平坦で滋賀丘陵と同じく古琵琶湖層の上に段丘礫層が堆積している。

福井県境に源をもつ白瀬川は途中、石田川と河川の争奪した跡をのこして扇状地をつくりつつ湖に注ぐ。

2-1-1-4 湖 北

若狭湾と琵琶湖に挟まれ、南方が沈降地形を示す関係で南北に延びる谷が発達している。この地方に

は、古生層が南と東に、花崗岩が南にそれぞれ広く分布し、接触地帯にはホルンフェルスを見る外、古生層中に小範囲に結晶質石灰岩をみる。

月出から菅浦に延びる半島の接触帯には比較的大きいザクロ石が、又花崗岩中にはペグマタイトや石英脈がみられる外、大浦、月出附近では石英斑岩が古生層中に入っているのを見る。

塩津中学校及び八田部には角礫の粘板岩、砂岩、ホルンフェルス及び花崗岩から成る段丘をみるが、これに似た小さいものは、マキノ町にもみられる。湖北の花崗岩も黒雲母花崗岩であるが、地域によって多少岩相が違っている。月出及び大浦でも古生層との接触作用で生じた、ベスブ石、トゥキ石等の接触鉱物等を伴うザクロ石脈や海津大崎の東方の接触帯では磁鉄鉱脈をみる。

2-1-1-5 湖 東

湖西の花折断層に対称して湖東にみられるのが柳ヶ瀬断層である。この断層は福井県上板取附近から滋賀県の中河内に入り余呉湖の東をへて木ノ本に達し、更に虎姫山-伊吹山の西を通って岐阜県大垣方向に延びていると考えられる。木ノ本以西の山地地形をみると断層によって東側が西側より開析が著しく、その結果、東側山地に扇状地がよく見られ、又椿坂峠附近では高時川の谷と余呉川の谷が対頂谷になっている。この断層も平野に入ると、その跡を追う材料が乏しく只推定するにとどまる。しかし、伊吹山脈の北西は幾多の小断層によって多くの地塊をつくっている。

湖東地方の地質は殆んど古生層と沖積層から成り、外に花崗岩が北東部で古生層に貫入している。古生層の岩石は主に粘板岩、砂岩、チャートと少区域に分布する輝緑凝灰岩で所によっては石灰岩が広く露出している。而して、石灰岩相の累層は礫見によると非石灰岩の累層に衝上しているとし、学者によっては両累層を細かに分類している。而して、石灰岩に含まれる多くの化石からして二疊系のものと考えている。

甲津原の花崗岩は、岐阜県の諸岡花崗岩の延長と考えられる。本岩石は、古生層を貫きそれに接触変成を与えている。貫入時期は中生代末と推定される。副成分の中で、カツレン石の量が著しく多く、黒雲母の周りに集まる傾向がみられる。従って、本地方の花崗岩は県下の花崗岩と少し趣きを異にし、含カツレン石閃緑岩質花崗岩もいえる。

湖に沿って発達している第四系の中には、東浅井郡に古生層の岩石の礫から成る扇状地と伊吹山腹及び山麓に石灰岩崖錐堆積物が分布している。沖積層は礫、砂、粘土から成り湖西の平野をつくっている。

2-1-1-6 湖 南

湖南地域は沖積層から成る所謂近江平野が広く占め、山地近くまで古琵琶湖層の丘陵が発達している。第三紀層は僅かに鈴鹿山麓の鮎河附近にみられるにすぎない。粘板岩、砂岩、チャートを主とし、石灰岩の古生層は湖南地区の東西に露出している。石灰岩相は鈴鹿山脈の背梁部をつくり、黒灰色か灰白色でフズリナ、海百合などの化石を含む霊仙山、御池岳、藤原岳などではカルスト地形をみる。古生層を貫入した花崗岩は南の信楽地方に広範囲に亘って分布している外、鈴鹿山脈にもみられる。花崗斑岩や石英斑岩は平野の中心部と、神崎郡でいづれも略南北に露出している。尚、永源寺附近では孤立する山を構成している。断層は概ね東の地域と信楽地域にみられるが特に大きいものではない。

鈴鹿花崗岩は概して粗粒で広く三重県御在所岳方面までに露出し、鈴鹿山脈の背梁部を形成している。古生層との接触部は八風橋から八風谷に向った附近等に見られる。ペグマタイトは北部より南部に多く、黄玉や水晶、カツレン石、チタン鉄鉱を伴う。鮎河地方の花崗岩の岩相に類似している点から同質同源のものと考えられ共に、周辺古生層に接触変成を及ぼしている。

滋賀県下で只一の中新層が池辺によって鈴鹿山脈の西北に存在していることが明かになり、鮎河層群と称している。氏によると、鮎河層群は北側では古生層を不整合におおい、東側は断層で古生層と花崗

岩に、南側では他の断層で花崗岩と接し、西側では古琵琶湖層と接しているという。本層群を浅海成の山内相と半淡水成の鮎河相に分ち、各相からそれぞれ特有の化石が発見されている。

湖南地方の各地で丘陵をなす古琵琶湖層は湖西地方のものと、構成物が多少異なっている。即ち、最下部をなす亜炭層は日野町の南方に主に露われ、黒雲母、花崗岩、礫及び粗砂とそれらの風化物から生成したと考えられる粘土層と互層をし、軽石を伴い、数多くの動植物の化石を有す。

古琵琶湖層群中の粘土鉱物について兼松の詳細な研究がある。それによると多くは加水ハロイサイトであるが、古生層の岩石の風化物を混えると、イライトを見る。

2-2 表層地質の垂直的分布について

地表の状態、岩石の種類による風化度などから表層地質作業規程に基いて図上に表現することは甚だ困難であり、且つ、正確を期することは出来ない。従って、本作業を行うに当って野外踏査によって得た観察と地域の代表的試錐のデータをあわせ考察した結果について記載する。

試錐も目的によって深さは異なるが、なるべく深層風化帯を中心に行った。風化層の深度は規程に基いて α (約3 m以浅の浅い層) β (約3-10mで中程度) 及び γ (約10m以深の深い層) に区別した。尚、未固結堆積物が分布している粘土、砂、礫の各層の分類単位は内規によって一応40mを基準としたが、互層している場合或いは地層が災害と関係していると考えられる場合は例外とした。

2-2-1 湖西地方

広く分布している古琵琶湖層は湖南地方にみられるものに比して露出は悪く段丘礫層と崩土層で、うすく被われている。湖に発達している琵琶湖歪帯の一部は、湖西地域を略々南北に走り、これが地じりの遠因と考えられる。古琵琶湖層は砂土層、粘土混りのシルト層と粘土層の互層から成り厚層は不定であるが、地じり地では粘土層が β で滞水層とみなす砂土層が概ね α でその上になっている。構成物質は大體類似して、古生層の粘板岩、砂岩の破砕物及び風化物であるが、地域によっては花崗岩やホルンフェルスの風化物をも伴う。固結度は概ね低く、それがため崩れるか、雨裂をつくり易い。

粘板岩の風化した赤褐色の粘土は粘着性にとみ、地下水でグライ層をつくるが、乾燥すると、多数の小さい亀裂をつくる。これをX線で解析してみると粘土鉱物は主にイライトであるが一部はモンモリロナイトか加水ハロイサイトに変化しその理学性に著しい差がみられ、特に前者が多い場合は地じりを起し易い。しかし、この粘土層も正確にはシルト質粘土層で、シルトの存在量の多少によって土のコンシステンシーは異なる。コンシステンシー指数 (I_c) は、液性限界と自然含水比との差と、塑性指数との比である。古琵琶湖層の粘性土の I_c を測定すると、0.9-0.8が多く0.7-0.6のものとを共に考えると、大部分を占めている。しかし、 $I_c = 0.4$ 位のものが地域的にみられ、その多くが地表下5 m以内であることは注目しなければならない。即ち、降雨が集中されたり、地下水の流れが変わって貯留される場合は安定度はかなり低下してくる。力学的な数値も、同じ琵琶湖層でも構成物質によって多少相違し、例えば粘着力(c) = 0.2-4.0 kg/m² (但し、不攪乱試料... 0.2-0.4 攪乱試料 0.2-0.3) - 軸圧縮強度 (q_u) = 2.6-8.0 kg/cm²はその例である。一方表土と粘土化にある風化物の物理性をみるに、内部まさつ角は $0^\circ-9^\circ$ と一般の粘土に比べて小さい点などが地じり粘土と考えられる1つの理由であろう。

	塑性限界	液性限界	自然含水比
表 土	28-31 %	67-77 %	33-55 %
風 化 部	24-29 %	59-70 %	26-45 %

粘土層と互層している砂土層の構成物質は概ね、粘板岩、砂岩及び花崗岩の風化生成物から成り、砂質部分は略々85-95%を占めている。しかし、竜華砂礫層のように礫を伴った層もあるが、均等係数(Uc)は3.0-3.6と粒度分布は悪い。(曲率係数(Uc')=1.0-4.6)砂の透水性は概ね $a \times 10^{-1}$ cm/secと良好で粘土層の $a \times 10^{-6} \sim a \times 10^{-8}$ cm/secの不透水層と互層状に堆積し、植物の根茎は地中深くまで伸びていない。

以上のような堆積をなす古琵琶湖層を開拓する場合には、地氾りを考えて行うことは肝要で一般に盛土より切土が困難で対策工法としても地下水の排除、G. I. P. による抑止工、押盛土等を用いるのが便利である。

大津市別所附近の地層は花崗岩の風化生成物の礫、砂及び粘土の互層で地表から15mまでは砂と粘土から成り、層厚は α が主であるが、それから80mまでは砂礫から成り、一層深くなるにつれ細砂と粘土の混合層が互層で厚さは β か r 、280m以深は粘土層である。この粘土は諸性質から、多分破碎帯に生じたものと推察される。

琵琶湖大橋の堅田附近は殆んど粘板岩と砂岩の風化物が α か、それ以下の厚さで互層し地下26mおよび200mと450mに地下水源がみられるが、岩盤は相当深いものようである。

メタンガス採取の目的で草津市山田町で試錐した柱状図で明らかのように、古琵琶湖層となる150mからは粒径 3×3 mm $\sim 5 \times 5$ mmの粘板岩か花崗岩、風化した砂が主にこれに細砂を交え、 β か r の厚層で堆積しているが深くなるにつれ花崗岩の細砂の厚い層となり、420mで脈岩をみる。この間天然ガスは沖積層-洪積層の砂礫層中に胚胎する浅層ガスとそれより深い地層をつくる古琵琶湖層中にある深層ガスがある。浅層ガスは水位が高いのに反し、深層ガスは277 \sim 298m、310 \sim 325m、333 \sim 353mに見られ、ガス水比を0.2としても日産250m³/D以上のガスを自噴する。

守山市今浜町附近の地質は120-180mの沖積層の下に厚さ不明の古琵琶湖層が堆積しているが基盤は不詳。沖積層及び古琵琶湖層は共に古生層の岩石及び花崗岩の風化物から成り、140m附近までは主に砂土から成るが、以下600mまでは粘土層から成り途中に2 \sim 3枚の亜炭を挟む。70m附近で少量のメタンガスが噴出するが他にはみられない。

地下水は150m、250m及び600mにあって26°Cの水を自噴する。信楽地方は大体黒雲母花崗岩を基盤とし、真砂土が環境によって、それぞれの厚さで堆積している。花崗岩は多くの大小の亀裂をもっているため雨や地下水は相当深い所まで浸透し、従って、深層風化も行われている。

湖南地域に分布している古琵琶湖層の構成物質は湖西地域に露出しているもの比べて遙かに花崗岩の風化物が多く、粘土層はカオリン系粘土鉱物にとむ粘土であるため地氾りなどの災害は比較的少く、むしろ砂質のため、透水係数は $10^{-4} - 10^{-6}$ のオーダーで、従ってガリーをつくることが多い。

甲賀郡土山町に露出している第三紀の砂岩、泥岩は α か β の厚さで互層し泥岩は特に浅層風化によって多く破碎され1部は粘土化しているが、深層では何の変化もない。而して、貝化石や植物化石を多数含む、特に鮎河相は半淡水堆積層でVicaryella baculumが多い。この鮎河層群に唐戸川と川西の両礫岩層があり、2つの堆積輪廻から出来たと発表されている。

・湖南及び湖東地方に広く分布している石英斑岩は地域によっては地表風化していないが愛知、神崎両郡下では地表風化は勿論、深層も風化し亀裂が多く一部は粘土化している。恐らく破碎帯であろう。即ち、地表から約100mまでは中礫混りのシルト層が主で、深くなるにつれてシルト混りの粘土層が多くなり213mで4m位の厚さに亜炭を挟在する。400mまでは比較的亀裂の少ない新鮮な母岩であるが、それから461m間は破碎されて多くの亀裂がみられ、その下は硬い母岩となる。この破碎帯から出る水は年平均27°C前後と推定され現在利用されている。

米原町干拓地一帯は起伏の激しい粘板岩を基盤として、その上に古生層の岩石の風化物が堆積している。この付近で利用しているメタンガスは概ね70～80mから水と共に噴出するもので、150m以降は固結砂のためか噴出をみない。

湖東及び湖北地域に広く露出しているのは古生層に属する粘板岩、砂岩、石灰岩とチャート、輝緑凝灰岩で北部と北東部に花崗岩が分布する。チャート以外は相当浅層風化をうけ1部は粘土となる。従って、地表水の地下への浸透は甚しい。

次の表は県下の各温泉の成分を示す。

	湧出量 l/s	泉 温	特 性	泉 質	PH
雄 琴No. 1	30.65	19.5		放射能泉	9.3
" 湯 元	9.7	19.3		"	9.2
茶 ヶ 崎	190.0	37.2		"	8.6
石 山	460	14.0		"	7.0
塩 野	3.3	14.6		含塩化土	7.1
官 野	2.4	14.0		類食塩泉	7.3
深 川	10.0	18.5		"	7.2
サンケイバレー	6.7	7.0		放射能泉	5.7
小 松 ヶ 浜	70.0	14.0		"	6.7
今 浜	250.0	34.5		単純温泉	7.3
笹 ヶ 谷	236.0	30.7		"	9.3

本調査には数多くの文献を参考にした。特に花崗岩については立川正人氏の教えをうけたことを添記する。

兼 松 四 郎 (滋賀県立短期大学名誉教授)

3. 土壌統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要

3-1 山地の土壌

滋賀県の山地は大きく分けると、湖北、湖東、湖南、湖西山地に分類できる。

湖北山地は伊吹山、金糞岳等と江若山地に分けられる。

湖東山地は御在所山、鎌ヶ岳等の鈴鹿山系と沖の島の島状等に、また湖南山地においては信楽高原と比叡山等に分けることができる。湖西山地は朽木谷を中心とする区域となる。以下その分布状態について述べる。

湖北山地は古生層石灰岩を母材とした褐色森林土（Ⅰ型）が多く分布し、山頂から山脚部にかけて褐色森林土（Ⅱ型）が分布している。

湖東山地も、その大部は褐色森林土（Ⅰ型）であるが丘陵地帯になると粗粒未熟土及び赤褐色系土壌が山麓に分布している。

湖南山地になると、信楽高原は、その大部分が花崗岩地帯よりなっている関係で粗粒未熟土が多く一部に古生層地帯の褐色森林土（Ⅰ型～Ⅱ型赤褐色系）が分布している。

湖西山地になると、朽木山地の褐色森林土（Ⅰ型）以外は粗粒未熟土が広く分布している。

ポドゾル化土壌は、湖北、湖東の一部に局部的に高山地帯にみられる。

野 沢 延（滋賀県農林部林務課）

3-2 耕地土壌の説明

滋賀県の耕地土壌の特徴は、琵琶湖を中心に湖辺平坦部では、泥炭土、グライ土、灰色低地土、褐色低地土が分布、台地段丘および丘陵地には、赤黄色土、褐色森林土が分布する。丘陵地帯の侵蝕をうけた谷には、通年滞水のグライ土があり、山間では河川に沿って、主として灰色低地土、褐色低地土が分布し、山地には、褐色森林土と、ごく一部に赤黄色土や岩屑土が分布している。琵琶湖に流入している河川は多く、これがために、粗粒質の土壌や礫質、礫層土壌が少範囲に河川沿いに分布し、琵琶湖岸には、粗粒質の土壌が細く伸びている。

土壌統群の分類基準を第1表で示した。

第1表 土壤統群分類基準

土 壤 群	土 壤 統 群	腐植層泥炭	グライ層	土 色	土 性	土地利用
岩 屑 土	岩屑性土壤	な し	な し	—	礫 質	畑
黒 ボ ク 土	厚層黒ボク土壤	全層腐植層	な し	黒	—	畑
	黒ボク土壤	腐植層あり	〃	〃	—	畑
	多湿黒ボク土壤	〃	〃	〃	—	畑
	黒ボクグライ土壤	〃	80cm以内あり	〃	—	畑
	淡色黒ボク土壤	〃	な し	〃	—	畑
褐色森林土	褐色森林土壤(黄褐色)	な し	な し	黄 褐	—	水田・畑
	湿性褐色森林土壤(暗色系)	表層腐植層あり	〃	灰褐～黒	—	畑
赤 黄 色 土	赤 色 土 壤	な し	な し	赤	—	畑
	黄 色 土 壤	〃	〃	黄	—	水田・畑
褐色低地土	褐色低地土壤	な し	な し	黄 褐	—	水田・畑
	粗粒褐色低地土壤	〃	〃	〃	砂質または礫質	水田・畑
灰色低地土	細粒灰色低地土壤	な し	な し	灰褐～灰	強粘～粘質	水田
	灰色低地土壤	〃	〃	〃	壤質	水田
	粗粒灰色低地土壤	〃	〃	〃	砂質または礫質	水田
グ ラ イ 土	細粒グライ土壤(1)	な し	80cm以内あり	青灰～灰	強粘～粗質	水田
	細粒グライ土壤(2)	〃	〃	〃	〃	水田(通年滞水)
	グライ土壤	〃	〃	〃	壤質	水田
	粗粒グライ土壤	〃	〃	〃	砂質または礫質	水田
泥 炭 土	低位泥炭土壤	泥炭層あり	80cm以内あり	灰～黒	—	水田
	黒泥土壤	黒泥層あり	〃	黒～灰褐	—	水田

土壤統群の説明

岩屑性土壤

- A. 母材 固結水成岩(粘板岩)
- B. 堆積様式 残積
- C. 地形 山形、谷壁段丘
- D. 利用区分 畑地、一部原野
- E. 簡略分級式④ Ⅱgd(w)nsⅡtfie
- F. 分布 朽木村、今津町
- G. 土壤保全上の留意事項

朽木山地の高冷地で地形は急傾斜であり、階段畑に造成されているがやや不完全である。気象条件が高冷であり、夏作のみが栽培され、抑制栽培がみられる。管理状況は概して良いが、収量はやや低い。浅耕土で礫が多いため、早ばつのおそれが多く、有効態養分は少なくない。保全対策としては、畑地かんがい設備、階段工の実施と塩基、磷酸、有機物の増施および除礫が必要である。

厚層黒ボク土壤

- A. 母材 非固結堆積岩
- B. 堆積様式 水積
- C. 地形 扇状地
- D. 利用区分 畑
- E. 簡略分級式 ㊦ I g II t d (w) f
- F. 分布 伊吹町
- G. 土壤保全上の留意事項

扇状地面に主として分布し、ほぼ全層に未風化、半風化の半角礫にすこぶる富む。黒ボク層の厚さは50cm以上で、その下層には、黒色で腐植を含む壤質の無機質土層がある。自然肥沃度と養分の豊否は良～中で、作物の生育も良好であるが、礫が多いため、耕耘には多大の労力を要し、作土はやや浅い。普通畑、果樹園として利用されている。保全対策として、畑地かんがい設備と除礫、および有機物と磷酸の補給が必要である。

黒ボク土壤

- A. 母材 非固結堆積岩
- B. 堆積様式 洪積および水積
- C. 地形 台地、沖積緩傾斜地
- D. 利用区分 畑地
- E. 簡略分級式 ㊦ I g II (w) fn
- F. 分布 安曇川町、今津町、マキノ町、浅井町、伊吹町、土山町、甲賀町
- G. 土壤保全上の留意事項

洪積台地および沖積の緩傾斜地に分布し、黒ボクの厚さは50cm以内である。下層は黄褐色（洪積）または灰褐色（水積）であり、前者は粘質、後者は礫質である。自然肥沃度、養分の豊否は良～中で、畑地として利用され、作物の生育は良好である。保全対策として畑地かんがい設備、有機物磷酸、塩基などの補給が必要である。

多湿黒ボク土壤

- A. 母材 非固結堆積岩
- B. 堆積様式 水積
- C. 地形 段丘および沖積緩傾斜地
- D. 利用区分 水田
- E. 簡略分級式 ㊦ I p II tr fn
- F. 分布 八日市市、蒲生町、永源寺町、愛東町、湖東町、甲良町、山東町、伊吹町、木之本町、今津町、朽木村、土山町、日野町
- G. 土壤保全上の留意事項

八日市市を中心とした八日市台地（左岸）および伊吹山地、饗庭野台地、朽木山地、甲賀丘陵、日野丘陵の緩傾斜地に主として分布し、灰褐色土層・黒ボク土層あるいは、黒色土層・灰褐色土層（黄褐色土層）であって60cm以内に礫層は存在しない。作土は強粘～粘質であるが、一部壤質もある。下層も強粘～粘質であるが、甲良町では、壤質が分布する。作土の透水性は、大で遊離酸化鉄少く老

朽化しており、含鉄資材、磷酸、塩基の補給が必要である。

黒ボクグライ土壌

- A. 母材 非固結堆積岩
- B. 堆積様式 水 積
- C. 地形 山間の緩傾斜地
- D. 利用区分 水 田
- E. 簡略分級式 ㊦ⅡrⅡp
- F. 分布 山東町
- G. 土壌保全上の留意事項

山東町の下位台地の南につづく低地にみられる黒ボク強グライ土壌である。50cm以上黒ボク層からなる。土壌は粘～壤質である。斑紋は存在しないことが多い。還元による根ぐされがいちじるしく、養分の豊否は良であるが生産力は低い。暗渠排水および磷酸の増施肥が必要である。

淡色黒ボク土壌

- A. 母材 非固結堆積岩
- B. 堆積様式 水 積
- C. 地形 緩傾斜地および平坦地
- D. 利用区分 畑
- E. 簡略分級式 ㊦Ⅱ(w)Ⅱgpfn、㊦ⅡnⅡpf
- F. 分布 永源寺町
- G. 土壌保全上の留意事項

河岸段丘部の緩傾斜地および平坦地に分布する黒ボク土で彩度2～4、明度2～6である。表土には5～10%の未風化の小礫を含む、土性は強粘質である。透水性は大きく保水性は中で一時的に過干のおそれが多い。自然肥沃度、養分の豊否は中である。茶の間作にこんにゃく芋、野菜が作付されている。管理は粗放で収量も低い。保全対策としてはかんがい設備、有機物施用、塩基の補給、磷酸の増施肥が必要である。

褐色森林土壌

- A. 母材 非固結堆積岩
- B. 堆積様式 洪積世堆積
- C. 地形 緩傾斜地および平坦地
- D. 利用区分 水田、畑
- E. 簡略分級式 ㊦Ⅱfn ㊦Ⅱft(w)n
- F. 分布 秦荘町、湖東町、愛東町、永源寺町、八日市市、伊吹町、浅井町、マキノ町、水口町、甲賀町、信楽町
- G. 土壌保全上の留意事項

河岸段丘部、洪積台地の緩傾斜地および平坦地に分布し、黄褐色と暗色系土壌がある。黄褐色土壌は黄褐色土層からなり、水田および畑に利用され、暗色系土壌の表土は、腐植に富む灰褐色の土層で、下層は黄色で、腐植なしの強粘土層からなり、畑に利用されている。水田の生産力は中程度である。

畑は収量、中ないし少である。保全対策として水田では、有機物、塩基、珪酸の補給と耕地、畑地では、有機物、塩基の補給と深耕、灌水および排水設備が必要である。

赤色土壌

- A. 母材 固結堆積岩および非固結堆積岩
- B. 堆積様式 残積および洪積
- C. 地形 山地の傾斜地および丘陵地
- D. 利用区分 畑
- E. 簡略分級式 $\textcircled{R} \text{IpsI}(w)fe$ および $\textcircled{R} \text{I}(w)fn$
- F. 分布 彦根市、多賀町、木之本町、大津市
- G. 土壌保全上の留意事項

カルスト地形の存在する石灰岩地帯に主として分布し、一部洪積丘陵地にも分布して、畑として利用されている。概して、強粘～粘質で風乾土は固く、耕耘は困難であり、透水、保水性は中程度であるが、一時的に過干のおそれがある。また傾斜地では、侵蝕のおそれがある。自然肥沃度、養分の豊否は中であるが、最近荒廃化しているところもある。保全対策としては、干ばつ防止対策、有機物施用、塩基の施用、深耕（平坦部では排水に注意）を必要とし、傾斜地では、階段工が必要である。

黄色土壌

- A. 母材 固結および非固結堆積岩
- B. 堆積様式 残積および洪積世堆積
- C. 地形 丘陵地および洪積台地段丘の傾斜地、緩傾斜地
- D. 利用区分 畑および水田
- E. 簡略分級式 $\textcircled{R} \text{I}pwfn$ 、 $\textcircled{R} \text{I}pltn$
- F. 分布 ほぼ県下全域にわたる
- G. 土壌保全上の留意事項

丘陵地および洪積台地の傾斜地に分布する黄色土壌は、畑地に利用される。洪積台地表面上および段丘の緩傾斜地は、水田および畑地に利用されている。丘陵または台地につらなつた緩傾斜の沖積地に分布する土壌で、土色が黄色を呈するものは、黄色土壌とした。自然肥沃度、養分の豊否は中であるが、風乾土は固く、耕耘は困難、下層土は強粘質で緻密度大きく、透水性不良で、畑地では過湿のおそれがある。保全対策として、畑地では有機物施用、深耕、排水、塩基補給、水田では、有機物施用、深耕、珪酸、塩基補給が必要である。

褐色低地土壌

- A. 母材 非固結堆積岩
- B. 堆積様式 水積
- C. 地形 平担
- D. 利用区分 水田および畑地
- E. 簡略分級式 $\textcircled{R} \text{Ifn}$ 、 $\textcircled{R} \text{Itp}(w)fn$
- F. 分布 平担部畑地として全県に点在し、水田では木之本町、高月町、彦根市、甲良町、五カ荘町に広く分布する。

G. 土壤保全上の留意事項

台地につづく平坦部、琵琶湖岸、山間部の谷底平野および河川敷に分布しており、黄褐色の強粘、粘および壤質の土層よりなる。水田、普通畑、桑園として利用されている。自然肥沃度、養分の豊否は、中程度である。畑地は作土やや浅く、過干のおそれがあり、かんがい設備、有機物の施用、深耕、塩基補給が必要である。水田は、有機物の施用、珪酸塩基の補給が必要である。

粗粒褐色低地土壤

- A. 母材 非固結堆積岩
- B. 堆積様式 水積
- C. 地形 平坦
- D. 利用区分 畑地、水田
- E. 簡略分級式 ㊦ $\text{II}(w)\text{Ifn}$
㊧ IIfn または III dl II ttfn
- F. 分布 全境的に湖岸の畑地帯および、日野町、土山町、信楽町、朽木村、マキノ町
- G. 土壤保全上の留意事項

琵琶湖岸に分布する畑のうち、周辺の低湿地よりも一段高く、造成された粗粒質で黄褐色の土壤、および山地の河川上流域の沖積地（谷底平野）に分布する。黄褐色の砂礫質の水田である。自然肥沃度、養分の豊否は中であるが、透水性は大きく、保水力は小であり、畑地は、過干のおそれが大きく、水田は水持ち悪く、作土および有効土層が浅い。保全対策は、畑地では、かんがい設備、有機物施用、塩基の補給、水田では、客土、床じめ、有機物施用、珪酸および塩基の補給が必要である。

細粒灰色低地土壤

- A. 母材 非固結堆積岩
- B. 堆積様式 水積
- C. 地形 平坦
- D. 利用区分 水田、畑地
- E. 簡略分級式 ㊦ IIfn 、㊧ $\text{IItp}(w)f$
- F. 分布 全県
- G. 土壤保全上の留意事項

褐色低地土壤につづき、琵琶湖側の平坦部に存在するが、河川に沿って、中流域まで分布している灰色、灰褐色の強粘または粘質の土層よりなり、主として水田であるが、一部畑地に利用されている。自然肥沃度、養分の豊否は中であり、生産力も中程度である。保全対策として、水田では、有機物の施用、珪酸および塩基の補給が必要であり、畑地では、かんがい設備、有機物の施用、深耕が必要である。

灰色低地土壤

- A. 母材 非固結堆積岩
- B. 堆積様式 水積
- C. 地形 平坦
- D. 利用区分 水田、畑地
- E. 簡略分級式 ㊦ IIfn 、㊧ $\text{II}(w)\text{Ifn}$

F. 分布 全県

G. 土壤保全上の留意事項

細粒灰色低地土壤に隣接して分布する灰色、または灰褐色の壤質土層よりなり、主として水田であるが、一部畑地に利用されている。湛水透水性はやや大きく、自然肥沃度、養分の豊否は中であり、生産力は中程度である。

保全対策は、床じめ、有機物の施用、珪酸および塩基の補給が必要である。灰色を呈する土壤のうち、マンガン結核を30cm以下に含む水田は、作土中の遊離鉄が少なく、老朽化が水稻根系障害の原因となっているので、含鉄資材の施用が必要である。畑地は過干のおそれが多く、かんがい設備、有機物の施用、深耕が必要である。

粗粒灰色低地土壤

A. 母材 非固結堆積岩

B. 堆積様式 水積

C. 地形 平坦

D. 利用区分 水田、畑地

E. 簡略分級式 ㊦ I1rfn、㊧ I1dw(w)fn

F. 分布 全県

G. 土壤保全上の留意事項

河川沿い、または湖岸に沿って細長く分布する。灰色または灰褐色の砂質土壤および礫質土壤である。主として水田であるが、一部に畑地がある。水田は湛水透水性が大きく、老朽化している。自然肥沃度、養分の豊否は中であるが、生産力はやや低い。畑地は有効土層浅く、過干のおそれがあり、湧水面が50cm内外に存在することから、過湿のおそれのあるところもあるが、桑園として利用されている。保全対策は、客土、有機物および塩基の補給が必要であり、水田では含鉄資材および珪酸の補給が必要である。

細粒グライ土壤

A. 母材 非固結堆積岩

B. 堆積様式 水積

C. 地形 平坦、緩傾斜地

D. 利用区分 水田

E. 簡略分級式 ㊦ I1rfn、㊧ I1pw

F. 分布 全県分布、通年滞水田は甲南町、甲賀町、土山町、水口町、日野町

G. 土壤保全上の留意事項

平坦部にもっとも広く分布する土壤であるが、琵琶湖内湖の干拓地の大部分もこの群に属する。丘陵地、山地の緩傾斜の沖積水田にもみられ、このうち古琵琶湖層の粘土に由来し、用水不足対策として、通年滞水状態に管理されている丘陵地の侵蝕谷に分布する、特殊な強湿田がある(f₂として区分した)。80cm以内に、グライ層の出現する強粘、または粘質の土層よりなる。還元による根ぐされのいちじるしいところ、あるいは、山間でかんがい水温の低く、かつ日照の少ないところは低収であるが、土壤断面構造の発達した水田が、高収で生産力は安定している。

保全対策は、用排水路の整備、暗渠排水による、根ぐされの防止、完熟堆肥の施用、珪酸の補給が

必要である。畑地は、主として桑園に利用されているが、琵琶湖内湖の干拓地の津田内湖は、畑利用され、細粒グライ土壌では、いちじく、牧草が栽培されている。畑利用には、暗渠排水、高畦栽培、耐湿性の強い作物、品種の選定が必要であるが、30cm内外に、グライ層の出現する土壌の畑利用は、不適である。

グライ土壌

- A. 母材 非固結堆積岩
- B. 堆積様式 水積
- C. 地形 平坦、緩傾斜地
- D. 利用区分 水田
- E. 簡略分級式 II rfn
- F. 分布 全県分布
- G. 土壌保全上の留意事項

細粒グライ土壌のつきに、平坦部に広く分布するが、山間部の谷底平野や緩傾斜地にもみられ、グライ層が80cm以内に出現する、壤質の水田土壌である。自然肥沃度、養分の豊否は中で、還元障害による根ぐされのおそれがある。保全対策は、用排水路の整備、暗渠排水、完熟堆肥の施用と深耕、珪酸および塩基の施用が必要である。畑利用には、暗渠排水、高畦栽培、耐湿性の強い作物、品種の選定が必要であるが、30cm内外にグライ層の出現する土壌では、畑利用は不適。

粗粒グライ土壌

- A. 母材 非固結堆積岩
- B. 堆積様式 水積
- C. 地形 平坦、緩傾斜地
- D. 利用区分 水田
- E. 簡略分級式 Ⓒ { II r l dfn (礫質)
II t rfn (砂質)
- F. 分布 全県に分布するが、特に今津町、新旭町、安曇川町、高島町に広く分布
- G. 土壌保全上の留意事項

安曇川下流域の湖西平坦部に広く分布し、部分的には、県下の河川沿いに粗粒灰色低地土壌に接して、それよりもより低湿地、あるいはより下流域に分布する水田で、80cm以内にグライ層のある砂質、あるいは礫質の土層よりなっている。砂礫質で湧水型のものも存在する。自然肥沃度、養分の豊否は中程度であるが、還元障害による根ぐされや、冷湧水による生育遅延により生産力の劣るものが多い。保全対策は、用排水路の整備と暗渠排水、珪酸および塩基の補給が必要。30cm内外にグライ層の出現する土壌の畑利用は不適である。

低位泥炭土壌

- A. 母材 アシ、ヨシおよび非固結堆積岩
- B. 堆積様式 集積および水積
- C. 地形 平坦
- D. 利用区分 水田、畑地
- E. 簡略分級式 Ⓒ II r l pfn、Ⓓ II w l pfn

F. 分布 近江八幡市、安土町、彦根市、米原町、びわ町、浅井町、湖北町、高月町、木之本町、西浅井町、マキノ町、新旭町、朽木町

G. 土壌保全上の留意事項

琵琶湖内湖干拓地に多く分布し、アシ、ヨシ等の残渣を50%以上占める土層をもつもので、グライ層につづき、50 cm 以内から泥炭層の出現する土壌である。自然肥沃度、養分の豊否は中である。地耐力小さく、機械による作業は、やや困難である。津田内湖は干拓畑で、泥炭土壌には、れんこんが栽培されている。保全対策としては、暗渠排水、客土が必要である。

黒泥土壌

- A. 母材 非固結堆積岩
- B. 堆積様式 水積
- C. 地形 平坦
- D. 利用区分 水田
- E. 簡略分級式 Iprfn
- F. 分布 中主町、野洲町、能登川町、高島町、今津町

G. 土壌保全上の留意事項

灰色土層の下に、黒泥層（泥炭の分解が進み、植物せんいがほとんど認められない黒色の層）がつづいているが、泥炭を含むことが多く、グライ層の存在しない場合と、泥炭土壌に隣接してグライ層のある場合がある。湛水透水性は、やや大であるが、自然肥沃度、養分の豊否は中、還元による根ぐされのおそれがある。保全対策として、客土、含鉄資材、珪酸および塩基の補給が必要である。

勝 木 依 正（滋賀県農業試験場総合技術部）

小 林 正 幸（ " " " ）

広 田 忠 雄（ " 農林部耕地指導課 ）

4. 土地利用現況等の概要

4-1 総 説

滋賀県の総面積は、401,600haで、そのうち琵琶湖の面積は、67,500ha であり、残りが農用地と森林等に分けられる。

農用地は、田畑として土地面積の約26%、森林は約58%である。その分布状況は、琵琶湖を核として、その周辺部に平野部が存在し、外延部が森林地帯を形成しているという三重構造を伴っている。

特に気候（積雪）は、湖北地方においては、裏日本系に属し、湖南地方との較差は大きい。最近は、多様性のある地域経済社会の情勢に反映した土地利用種の変転があげることができる。このことは、農用地から次第に森林地帯へと移行していることも大きな特徴であり、湖南、湖東方面に多く、次いで湖西地方をあげることができよう。

4-2 各 説

4-2-1 山 地

本県森林の主要樹種の分布をみると、国有林は県北、県南に集中的に存在し、一部琵琶湖中部の東部にあるが、スギ、ヒノキの人工林が多いが、県北は積雪多量との関係もあり、広葉樹が多い。

民有林は、スギ（ヒノキ）が県内の全域にわたって存立しているが県南、湖東にはマツの天然林が多く、奥地は広葉樹によって占められている。

森林の分布は、気候、地質、地形などの自然要因によって左右されることは勿論であるが、スギを主とする優良林の多い地方は鈴鹿、伊吹山地と朽木山地などであるが、他の地方でも局部的に存在する。マツの天然林は、信楽、比良の山地及び丘陵地に多いが優れた美林は余り見受けられない。

広葉樹は、各県境毎に未だに奥地の大部分をしめているが、往時の薪炭時代と異なり琵琶湖総合開発計画（造林公社等）の実施とともに次第に造林されつつあるが、森林の約50%を上廻っている。

以上のほかに観光面への利用が最近目立っている。その例は、湖北、湖西にかけての冬の積雪を利用したスキー場の開設であり、またゴルフ場等の開設もあげることができよう。

川 瀬 清 市（滋賀県企画部企画調整課）

野 沢 延（＃ 農林部材務課）

勝 木 依 正（＃ 農業試験場総合技術部）

4-2-2 丘陵地

湖北地方では伊吹山南麓の伊吹丘陵のみで面積も少ない。黒ボク土壌および黄色土壌で礫に富んでおり、普通畑として利用されている。湖東地方では、古琵琶湖層群と呼ばれている水口丘陵が土山町から野洲町東部にまで伸びており、その一部は茶園、牧草地として利用されている。布引、日野丘陵地は、黄色土壌で強粘質の透水性の悪い土壌が多く、普通畑、果樹園（柿・桃）、牧草地が点在している。丘陵地には侵蝕谷がたこ足状に分布し、谷津田や通年滞水田となっている。多賀丘陵地は石灰岩を母岩とした残積性の赤色土壌が点在し、強粘質で酸性の強い畑地があり、普通畑、牧草地に利用されている。

湖南地方では、甲賀甲南丘陵は古琵琶湖層に由来する黄色土壌で茶園、普通畑、牧草地として利用されている。侵蝕谷多く、通年滞水田地帯を形成している。信楽、宇治田原丘陵は、花崗岩を母材とする残積

性土壌で主として茶園に利用されており、品質のすぐれた特産物となっている。牧草地としても利用されている。栗東、瀬田丘陵は標高200m前後で黄色土壌および赤色土壌よりなる普通畑、果樹園（梨・柿）が点在している。堅田および膳所、石山丘陵はごく小面積の普通畑が点在するのみである。

湖西地方は秦山寺野台地は黒ボク土壌で普通畑、果樹園（桃）として利用されている。饗庭野台地は自衛隊演習地で農地はほとんどない。

4-2-3 低地

湖北地方、平坦部はほとんど水田でグライ土壌がもっとも広く分布し、伊吹町から浅井町にかけては、多湿黒ボク土壌や灰色低地土壌がある。高時川と余呉川にはさまれた高月町および湖北町には褐色低地土壌が存在し、草野川、姉川、天野川沿岸には、粗粒灰色低地土壌が細く分布している。山地周辺部の排水不良地には泥炭土壌が点在している。畑地は余呉川、高時川、姉川沿いに褐色低地土壌が分布し桑園、普通畑として利用されている。伊吹の扇状地は黒ボク土壌で礫に富み、果樹園（柿）や普通畑として利用されている。余呉川河谷はグライ土壌で水田として利用され、山東盆地は多湿黒ボク土壌、黒ボクグライ土壌およびグライ土壌で水田として利用されている。

湖東地方、平坦部の琵琶湖周辺は、グライ土壌がほとんどで、内湖干拓地には一部泥炭土壌、黒泥土壌が分布している。グライ土壌について、台地周辺部は灰色低地土壌、褐色低地土壌があり、愛知川河谷および日野川河谷には、灰色低地土壌、粗粒灰色低地土壌が分布する。下流域は粗粒グライ土壌である。八日市台地左岸には多湿黒ボク土壌があり、右岸の北東部には平地林の開拓地があり、褐色森林土壌（黄褐系）が広く分布し、多湿黒ボク土壌が点在している。ほとんどが水田であるが琵琶湖岸および津田内湖干拓地は畑地として利用されている。

湖南地方では野洲川流域平坦地はグライ土壌が広く分布し、琵琶湖南部周辺はグライ土壌が狭く、灰色低地土壌が大部分をしめている。畑地は湖岸の粗粒質灰色低地土壌に点在している。野洲川河谷は、粗粒質グライ土壌が水田として利用され、点在する粗粒質灰色低地土壌は畑地として利用されている。

湖西地方では、比良山麓複合扇状地は花崗岩質の粗粒質グライおよび粗粒質灰色低地土壌の水田よりなっている。平坦地はグライ土壌が大部分で、砂礫層のある粗粒グライ土壌が安曇川沿岸に分布している。北部の江若山地に接する平地林開拓地には礫層のある黒ボク土壌および礫層のある黄色土壌が存在し、果樹園（栗）普通畑および水田として利用されている。朽木谷は多湿黒ボク土壌およびグライ土壌の水田が狭く分布している。

野 沢 延（滋賀県農林部材務課）

勝 木 依 正（滋賀県農業試験場総合技術部）

小 林 健太郎（滋賀大学教育学部）

B. 統 計 の 部

1. 土地利用現況

1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳

区 分 市 町 村	農 地									草			
	田			畑						農 地 計	利 用 草 地		
	普 通 田	特 殊 田	計	普 通 畑	特 殊 畑	樹 園 地			永 年 牧 草 地		自 然 草 地	計	
						果 樹 園	桑 園 ・ 茶 園	七 〇 他					
大 津 市	33	-	33	2	0	0	1	1	36	0	0	0	
彦 根 市	39	-	39	3	0	0	1	1	43	-	-	-	
長 浜 市	23	-	23	2	0	0	0	0	25	0	0	0	
近江八幡市	39	-	39	2	0	0	0	0	41	-	-	-	
八 日 市	25	-	25	1	0	0	0	0	26	-	-	-	
草 津 市	20	-	20	2	0	0	0	0	22	-	-	-	
守 山 市	25	-	25	2	0	0	0	0	27	-	-	-	
市 計	204	-	204	14	0	0	2	2	220	0	0	0	
志 賀 町	8	-	8	0	0	0	0	0	8	-	-	-	
栗 東 町	12	-	12	1	-	0	0	0	13	-	-	-	
中 主 町	13	-	13	1	-	0	0	0	14	-	-	-	
野 洲 町	15	-	15	1	0	0	0	0	16	-	-	-	
石 部 町	2	-	2	-	-	0	0	0	2	-	-	-	
甲 西 町	9	-	9	1	0	1	0	1	11	0	-	0	
水 口 町	19	-	19	1	0	0	1	1	21	0	2	2	
土 山 町	9	-	9	-	0	0	4	4	13	-	-	-	
甲 賀 町	16	-	16	1	0	0	1	1	18	0	0	0	
甲 南 町	12	-	12	1	1	0	1	1	15	1	-	1	
信 楽 町	8	-	8	-	0	0	2	2	10	0	-	0	
安 土 町	13	-	13	-	-	0	0	0	13	-	-	-	
蒲 生 町	13	-	13	1	0	0	0	0	14	-	-	-	
日 野 町	26	-	26	2	1	0	0	0	29	1	1	2	
竜 王 町	14	-	14	-	0	1	0	1	15	0	0	0	
永 源 寺 町	8	-	8	-	-	0	1	1	9	0	-	0	
五 個 荘 町	6	-	6	1	-	0	0	0	7	0	-	0	
能 登 川 町	18	-	18	1	-	-	0	0	19	0	-	0	
愛 東 町	9	-	9	1	0	0	1	1	11	0	-	0	
湖 東 町	12	-	12	1	0	0	0	0	13	-	0	0	
栗 荘 町	11	-	11	-	0	0	0	0	11	-	-	-	

(単位 Km²)

未 利 用 草 地 (原 野)	草 地 計	林										除 地	林 地 計	宅 地	公 共 用 地 そ の 他	合 計
		人 工 林			天 然 林			未 立 木 他								
		針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 草 放 牧 に 利 用 地	し て い る 土 地	そ の 他	計					
-	0	66	-	66	65	68	133	-	5	5	4	208	17	42	303	
-	-	5	-	5	11	8	19	-	2	2	-	26	10	20	99	
-	0	1	-	1	3	3	6	-	0	0	0	7	5	9	46	
-	-	6	-	6	9	1	10	-	1	1	-	17	6	11	75	
-	-	0	-	0	9	0	9	-	1	1	0	10	4	13	53	
-	-	0	-	0	4	0	4	-	1	1	-	5	7	14	48	
-	-	-	-	-	0	-	0	-	1	1	-	1	6	10	44	
-	0	78	-	78	101	80	181	-	11	11	4	274	55	119	668	
-	-	10	-	10	15	28	43	-	2	2	1	56	1	6	71	
-	-	6	-	6	17	1	18	-	1	1	0	25	6	9	53	
-	-	-	-	-	0	-	0	-	0	0	-	0	1	6	21	
-	-	2	-	2	8	0	8	-	1	1	-	11	3	10	40	
-	-	3	-	3	4	1	5	-	0	0	-	8	1	2	13	
-	0	8	-	8	20	2	22	-	1	1	0	31	5	8	55	
-	2	6	-	6	20	2	22	-	2	2	-	30	3	13	69	
-	-	66	0	66	11	22	33	-	2	2	1	102	1	10	126	
-	0	17	-	17	17	5	22	-	2	2	1	42	2	10	72	
-	1	7	-	7	14	7	21	-	0	0	-	28	1	4	49	
-	0	44	-	44	56	40	96	-	1	1	1	142	2	10	164	
-	-	1	-	1	4	0	4	-	0	0	-	5	1	5	24	
-	-	0	-	0	10	1	11	-	1	1	-	12	1	8	35	
-	2	12	-	12	39	14	53	-	3	3	0	68	3	16	118	
-	0	1	-	1	16	0	16	-	1	1	0	18	1	11	45	
-	0	29	-	29	11	120	131	-	4	4	1	165	1	5	180	
-	0	0	-	0	3	1	4	-	1	1	-	5	2	2	16	
-	0	1	-	1	1	0	1	-	1	1	-	3	2	7	31	
-	0	8	-	8	8	8	16	-	0	0	-	24	1	6	42	
-	0	3	-	3	2	2	4	-	0	0	-	7	1	5	26	
-	-	3	-	3	5	1	6	-	1	1	-	10	1	3	25	

区 分 市 町 村	農 地									草			
	田			畑						農 地 計	利 用 草 地		
	普 通 田	特 殊 田	計	普 通 畑	特 殊 畑	樹 園 地			永 年 牧 草 地		自 然 草 地	計	
						果 樹 園	桑 園 ・ 茶 園	そ の 他					
愛知川町	8	-	8	-	-	0	-	0	8	-	-	-	
豊郷町	5	-	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-	
甲良町	8	-	8	1	-	0	0	0	9	-	0	0	
多賀町	7	-	7	1	0	0	0	0	8	0	0	0	
山東町	12	-	12	1	0	0	0	0	13	-	0	0	
伊吹町	5	-	5	1	0	1	0	1	7	-	-	-	
米原町	8	-	8	1	0	0	0	0	9	-	-	-	
近江町	8	-	8	-	-	0	0	0	8	-	-	-	
浅井町	14	-	14	1	0	0	1	1	16	-	-	-	
虎姫町	6	-	6	-	0	0	0	0	6	-	-	-	
湖北町	13	-	13	1	0	0	1	1	15	-	-	-	
びわ町	9	-	9	1	-	0	2	2	12	-	-	-	
高月町	13	-	13	1	-	0	0	0	14	-	-	-	
木之本町	5	-	5	1	0	0	0	0	6	0	0	0	
余呉町	5	-	5	1	0	0	0	0	6	0	-	0	
西浅井町	6	-	6	1	0	0	0	0	7	1	-	1	
マキノ町	10	-	10	1	0	1	0	1	12	0	-	0	
今津町	11	-	11	1	0	1	0	1	13	-	-	-	
朽木村	4	-	4	-	-	0	0	0	4	0	1	1	
安曇川町	15	-	15	1	0	1	0	1	17	-	0	0	
高島町	11	-	11	-	-	0	0	0	11	-	0	0	
新旭町	10	-	10	-	-	0	0	0	10	-	-	-	
町村計	446	-	446	29	2	6	15	21	498	3	4	7	
県 計	650	-	650	43	2	6	17	23	718	3	4	7	

未 利 用 草 地 (原 野)	地												宅 地	公 共 用 地 之 他	合 計	備 考
	林						地									
	人 工 林			天 然 林			未 立 木 他			除 地	林 地					
針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 取 放 牧 に 利 用 地	そ の 他	計								
-	-	-	-	-	0	1	1	-	0	0	-	1	1	3	13	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	-	0	1	2	8	
-	0	-	-	-	2	0	2	-	0	0	-	2	1	3	15	
-	0	58	-	58	13	41	54	-	5	5	0	117	1	8	134	
-	0	13	-	13	10	8	18	-	1	1	-	32	2	6	53	
-	-	22	-	22	3	61	64	-	5	5	1	92	1	8	108	
-	-	12	-	12	4	12	16	-	2	2	0	30	1	3	43	
-	-	1	-	1	3	2	5	-	0	0	-	6	1	3	18	
-	-	12	-	12	11	37	48	-	2	2	-	62	2	7	87	
-	-	-	-	-	1	0	1	-	0	0	-	1	1	2	10	
-	-	1	-	1	4	3	7	-	1	1	-	9	1	5	30	
-	-	0	-	0	-	0	0	-	-	-	-	0	1	4	17	
-	-	2	-	2	2	5	7	-	1	1	-	10	1	3	28	
-	0	19	-	19	3	50	53	-	1	1	3	76	1	6	89	
-	0	18	-	18	2	137	139	-	2	2	0	159	1	3	169	
-	1	10	-	10	6	35	41	-	2	2	-	53	1	4	66	
-	0	11	-	11	1	45	46	-	3	3	0	60	1	5	78	
-	-	21	-	21	3	69	72	-	3	3	1	97	1	10	121	
-	1	32	-	32	3	113	116	-	7	7	0	155	1	6	167	
-	0	3	-	3	5	5	10	-	1	1	0	14	2	15	48	
-	0	4	1	5	20	19	39	-	1	1	1	46	1	5	63	
-	-	1	-	1	1	3	4	-	1	1	-	6	1	16	33	
-	7	467	1	468	378	901	1,279	-	62	62	11	1,820	65	283	2,673	
-	7	545	1	546	479	981	1,460	-	73	73	15	2,094	120	402	4,016	琵琶湖 675

1-2 D.I.D.おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳

単位Km²

区 分 市	市街地の内訳									市街地外の内訳							合 計	
	商 業 区	工業区			住 宅 区	その他				市 街 地 計	農 地	草 地	林 地	宅 地	公 共 用 地	そ の 他		計
		重 工 業 地	軽 工 業 地	計		漁 業 区	運 輸 区	公 共 区	計									
大津市	3	-	1	1	5	-	1	2	3	12	36	-	208	12	-	35	291	303
合計	3	-	1	1	5	-	1	2	3	12	36	-	208	12	-	35	291	303

2. 自然的土地条件

2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳

単位 km²

傾斜 区分 市町村	0°~3°	3°~8°	8°~15°	15°~20°	20°~30°	30°~40°	40°~	合計	備考
大津市	31	18	36	57	93	64	4	303	
彦根市	70	—	5	2	16	6	—	90	
長浜市	38	—	—	2	6	—	—	46	
近江八幡市	60	—	—	1	13	1	—	75	
八日市市	46	2	2	0	3	—	—	53	
草津市	35	5	4	4	0	—	—	48	
守山市	44	—	—	—	—	—	—	44	
市計	324	25	47	66	131	71	4	668	
志賀町	9	9	10	6	16	17	4	71	
栗東町	22	0	9	10	12	—	—	53	
中主町	21	—	—	—	—	—	—	21	
野洲町	25	—	—	8	7	0	—	40	
石部町	3	—	4	3	3	—	—	13	
甲西町	20	2	6	12	15	—	—	55	
水口町	28	0	24	7	10	—	—	69	
土山町	16	—	5	22	43	40	—	126	
甲賀町	13	—	28	23	8	—	—	72	
甲南町	12	—	7	16	14	—	—	49	
信楽町	—	—	8	87	61	8	—	164	
安土町	20	—	—	2	2	0	—	24	
蒲生町	23	2	8	1	1	—	—	35	
日野町	34	1	30	26	19	8	—	118	
竜王町	20	3	4	15	3	—	—	45	
永源寺町	14	1	2	13	47	101	2	180	
五個荘町	14	—	—	1	1	0	—	16	
能登川町	29	—	—	—	1	1	—	31	
愛東町	16	4	3	3	15	1	—	42	
湖東町	19	1	1	2	3	0	—	26	
秦荘町	17	—	2	1	4	1	—	25	
愛知川町	13	—	—	—	—	—	—	13	
豊郷町	8	—	—	—	—	—	—	8	
甲良町	13	—	—	1	1	—	—	15	
多賀町	9	3	3	7	47	62	3	134	
山東町	15	6	3	1	19	9	—	53	

傾斜 区分 市町村	0°~3°	3°~8°	8°~15°	15°~20°	20°~30°	30°~40°	40°~	合 計	備 考
伊 吹 町	3	6	5	7	34	51	2	108	
米 原 町	13	0	3	1	14	12	-	43	
近 江 町	12	-	1	-	5	-	-	18	
浅 井 町	20	4	7	-	18	38	-	87	
虎 姫 町	9	-	-	-	1	-	-	10	
湖 北 町	20	-	-	2	6	2	-	30	
び わ 町	17	-	-	-	-	-	-	17	
高 月 町	23	-	-	-	5	0	-	28	
木之本町	8	1	-	3	36	41	-	89	
余 呉 町	13	-	5	1	40	110	-	169	
西浅井町	9	0	4	3	33	17	-	66	
マキノ町	17	8	1	-	28	24	-	78	
今 津 町	17	4	3	-	31	65	1	121	
朽 木 村	0	4	5	1	43	110	4	167	
安 曇 川 町	28	3	1	2	14	0	-	48	
高 島 町	12	3	3	2	29	14	0	63	
新 旭 町	18	5	2	-	8	-	-	33	
町 村 計	672	70	197	289	697	732	16	2,673	
県 計	996	95	244	355	828	803	20	4,016	琵琶湖 675km ²

2-2 標高区分別面積市町村別内訳

単位 km²

市町村	0m	100m	200m	400m	600m	800m	1000m	1500m	合計	備考
	100m	200m	400m	600m	800m	1000m	1500m			
大津市	48	95	85	46	17	10	2	-	303	
彦根市	57	25	8	8	1	-	-	-	99	
長浜市	26	18	2	-	-	-	-	-	46	
近江八幡市	63	9	3	-	-	-	-	-	75	
八日市市	-	50	3	-	-	-	-	-	53	
草津市	32	16	-	-	-	-	-	-	48	
守山市	43	1	-	-	-	-	-	-	44	
市計	269	214	101	54	18	10	2	-	668	
志賀町	12	17	12	7	9	10	4	-	71	
栗東町	5	31	9	8	-	-	-	-	53	
中主町	21	-	-	-	-	-	-	-	21	
野洲町	17	20	3	-	-	-	-	-	40	
石部町	-	9	3	1	-	-	-	-	13	
甲西町	-	35	16	4	-	-	-	-	55	
水口町	-	47	18	4	-	-	-	-	69	
土山町	-	1	58	34	23	9	1	-	126	
甲賀町	-	5	60	5	2	-	-	-	72	
甲南町	-	17	29	3	-	-	-	-	49	
信楽町	-	1	76	82	5	-	-	-	164	
安土町	13	9	2	-	-	-	-	-	24	
蒲生町	-	34	1	-	-	-	-	-	35	
日野町	-	38	66	9	3	2	-	-	118	
竜王町	4	35	6	-	-	-	-	-	45	
永源寺町	-	7	28	41	60	35	9	-	180	
五箇荘町	1	13	2	-	-	-	-	-	16	
能登川町	28	2	1	-	-	-	-	-	31	
愛東町	-	15	8	11	7	1	-	-	42	
湖東町	-	20	2	3	1	-	-	-	26	
秦荘町	-	18	4	2	1	-	-	-	25	
愛知川町	4	9	-	-	-	-	-	-	13	
豊郷町	1	7	-	-	-	-	-	-	8	
甲良町	-	14	1	-	-	-	-	-	15	
多賀町	-	24	38	39	27	5	1	-	134	
山東町	-	30	17	5	1	-	-	-	53	
伊吹町	-	8	21	24	28	20	7	-	108	

市町村	標高区分								合 計	備 考
	0m ~ 100m	100m ~ 200m	200m ~ 400m	400m ~ 600m	600m ~ 800m	800m ~ 1000m	1000m ~ 1500m	1500m ~		
米原町	9	11	12	6	2	2	1	-	43	
近江町	9	8	1	-	-	-	-	-	18	
浅井町	2	30	21	16	10	6	2	-	87	
虎姫町	9	1	-	-	-	-	-	-	10	
湖北町	19	7	4	-	-	-	-	-	30	
びわ町	17	-	-	-	-	-	-	-	17	
高月町	8	19	1	-	-	-	-	-	28	
木之本町	1	19	28	21	13	6	1	-	89	
余呉町	-	18	45	53	35	16	2	-	169	
西浅井町	12	21	27	6	-	-	-	-	66	
マキノ町	12	18	22	16	10	-	-	-	78	
今津町	8	25	36	32	16	4	-	-	121	
朽木村	-	9	49	68	36	5	-	-	167	
安曇川町	17	19	11	1	-	-	-	-	48	
高島町	10	15	19	12	5	2	-	-	63	
新旭町	16	7	10	-	-	-	-	-	33	
町村計	255	683	767	513	294	123	28	-	2,673	
県 計	524	907	888	567	312	133	30	-	4,016	琵琶湖 675km ²

2-3 地形区分別面積市町村別内訳

	山地・火山地					丘陵地			台地		
	大起伏	中起伏	小起伏	山麓地	計	大起伏	小起伏	計	砂	礫	ローム
大津市	18	50	123	7	198	-	56	56	11	-	-
彦根市	-	8	16	-	24	-	-	-	-	-	-
長浜市	-	-	7	-	7	-	-	-	-	-	-
近江八幡市	-	-	14	-	14	-	-	-	-	-	-
八日市市	-	-	3	-	3	-	2	2	37	-	-
草津市	-	-	0	-	0	-	9	9	3	-	-
守山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市計	18	58	163	7	246	-	67	67	51	-	-
志賀町	21	12	6	8	47	-	7	7	1	-	-
栗東町	-	-	21	-	21	-	13	13	-	-	-
中主町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
野洲町	-	-	10	-	10	-	3	3	-	-	-
石部町	-	-	5	-	5	-	5	5	-	-	-
甲西町	-	-	22	-	22	-	15	15	-	-	-
水口町	-	-	10	-	10	-	33	33	15	-	-
土山町	7	45	55	-	107	-	3	3	13	-	-
甲賀町	-	-	19	-	19	-	48	48	5	-	-
甲南町	-	-	14	-	14	-	26	26	8	-	-
信楽町	-	-	138	-	138	-	21	21	-	-	-
安土町	-	-	5	-	5	-	-	-	1	-	-
蒲生町	-	-	1	-	1	-	10	10	4	-	-
日野町	3	5	18	-	26	-	60	60	29	-	-
竜王町	-	-	7	-	7	-	18	18	-	-	-
永源寺町	14	129	21	0	164	-	3	3	11	-	-
五個荘町	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
能登川町	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-
愛東町	-	9	10	3	22	-	-	-	13	-	-
湖東町	-	6	-	1	7	-	-	-	10	-	-
秦荘町	-	2	4	2	8	-	1	1	16	-	-
愛知川町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
豊郷町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲良町	-	-	1	-	1	-	1	1	1	-	-
多賀町	12	58	46	-	116	-	6	6	2	-	-
山東町	-	5	25	-	30	-	-	-	6	-	-
伊吹町	65	25	2	2	94	-	-	-	5	-	-

単位 km²

段丘		低地				埋立地	干拓地	合計	備考
岩石	計	扇状地性	三角州性	自然堤防砂	計				
-	11	18	17	1	36	1	-	303	瀬田川 1km ²
-	-	18	51	4	73	0	2	99	
-	-	15	22	2	39	0	0	46	
-	-	1	52	1	54	-	6	75	西之湖・長命寺川・日野川 1km ²
-	37	11	-	-	11	-	-	53	
-	3	3	31	2	36	-	-	48	
-	-	2	37	4	43	1	0	44	
-	51	68	210	14	292	2	8	668	河川・湖沼 2km ²
-	1	11	4	1	16	-	-	71	
-	-	14	5	-	19	-	-	53	
-	-	-	19	2	21	-	0	21	
-	-	8	19	-	27	-	-	40	
-	-	3	-	-	3	-	-	13	
-	-	18	-	-	18	-	-	55	
-	15	11	-	-	11	-	-	69	
-	13	3	-	-	3	-	-	126	
-	5	-	-	-	-	-	-	72	
-	8	1	-	-	1	-	-	49	
-	-	5	-	-	5	-	-	164	
-	1	0	11	-	11	-	5	24	西之湖 2km ²
-	4	20	-	-	20	-	-	35	
-	29	3	-	-	3	-	-	118	
-	-	17	3	-	20	-	-	45	
-	11	2	-	-	2	-	-	180	
-	-	10	4	-	14	-	-	16	
-	-	0	19	1	20	-	6	31	大中之湖・伊庭内湖 2km ²
-	13	7	-	-	7	-	-	42	
-	10	9	-	-	9	-	-	26	
-	16	-	-	-	-	-	-	25	
-	-	12	1	-	13	-	-	13	
-	-	8	-	-	8	-	-	8	
-	1	12	-	-	12	-	-	15	
-	2	10	-	-	10	-	-	134	
-	6	17	-	-	17	-	-	53	
-	5	9	-	-	9	-	-	108	

	山地・火山地					丘陵地			台地		
	大起伏	中起伏	小起伏	山麓地	計	大起伏	小起伏	計	砂	礫	口-ム
米原町	3	9	17	-	29	-	-	-	-	-	-
近江町	-	-	6	-	6	-	-	-	-	-	-
浅井町	34	17	11	2	64	-	-	-	-	-	-
虎姫町	-	-	0	-	0	-	-	-	-	-	-
湖北町	-	2	8	-	10	-	-	-	-	-	-
びわ町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高月町	-	-	5	-	5	-	-	-	-	-	-
木之本町	34	31	15	-	80	-	-	-	1	-	-
余呉町	30	86	41	-	157	-	-	-	-	-	-
西浅井町	-	11	48	-	59	-	-	-	-	-	-
マキノ町	-	33	26	-	59	-	-	-	-	-	-
今津町	10	50	37	-	97	-	1	1	9	-	-
朽木村	23	77	52	-	152	2	3	5	2	-	-
安曇川町	-	-	4	-	4	10	3	13	6	-	-
高島町	4	25	6	11	46	-	4	4	4	-	-
新旭町	-	-	-	-	-	4	2	6	10	-	-
町村計	260	637	721	29	1,647	16	286	302	172	-	-
県計	278	695	884	36	1,893	16	353	389	223	-	-

単位 km²

段丘		低地				埋立地	干拓地	合計	備考
岩石	計	扇状地性	三角州性	自然堤防砂州	計				
-	-	5	6	0	11	-	3	43	
-	-	5	7	0	12	-	-	18	
-	-	23	-	-	23	-	-	87	
-	-	3	6	1	10	-	-	10	
-	-	2	17	1	20	-	-	30	
-	-	-	14	2	16	-	1	17	
-	-	13	10	-	23	-	-	28	
-	1	8	-	-	8	-	-	89	
-	-	10	-	-	10	-	-	169	余呉湖 2 km ²
-	-	5	2	-	7	-	0	66	
-	-	10	8	1	19	-	-	78	
-	9	7	6	1	14	-	0	121	
-	2	8	-	-	8	-	-	167	
-	6	8	16	1	25	-	0	48	
-	4	2	6	1	9	-	0	63	
-	10	1	13	3	17	-	-	33	
-	172	320	196	15	531	-	15	2,673	湖沼 6 km ²
-	223	388	406	29	823	2	23	4,016	琵琶湖 675 km ² その他の湖沼・河川 8 km ²

2-4 表層地質分布面積市町村別内訳

表層地質 市町村名	未 固 結 堆 積 物							固		
	(扇状地) 礫	(扇状地の 末端) 砂	(古琵琶湖層) 礫	(古琵琶湖層) 粘土	碎屑物 (石灰石)	碎屑物 (花崗岩)	計	(中新層の山 内相結河層) 礫岩 砂岩 泥岩	粘板岩	砂岩
大津市	1	59	18	21	-	1	100	-	-	-
彦根市	59	18	-	-	-	-	77	-	-	-
長浜市	20	17	-	-	-	-	37	-	-	-
近江八幡市	48	15	-	-	-	-	63	-	-	-
八日市市	1	45	0	4	-	-	50	-	-	-
草津市	28	6	8	6	-	-	48	-	-	-
守山市	44	-	-	-	-	-	44	-	-	-
市 計	201	160	26	31	-	1	419	-	-	-
志賀町	-	17	0	5	-	9	31	-	-	-
栗東町	9	11	10	1	-	-	31	-	-	-
中主町	21	-	-	-	-	-	21	-	-	-
野洲町	13	16	-	-	-	-	29	-	-	-
石部町	-	3	5	-	-	-	8	-	-	-
甲西町	-	17	4	4	-	2	27	-	-	-
水口町	-	25	12	20	-	-	57	-	-	-
土山町	-	18	4	0	-	-	22	18	-	-
甲賀町	-	5	-	40	-	9	54	7	-	-
甲南町	-	13	2	17	-	4	36	-	-	-
信楽町	-	11	-	1	-	18	30	-	-	-
安土町	6	13	-	-	-	-	19	-	-	-
蒲生町	-	22	5	8	-	-	35	-	-	-
日野町	-	28	36	27	-	-	91	-	-	-
竜王町	-	22	4	3	-	9	38	-	-	-
永源寺町	-	15	0	1	-	-	16	-	-	-
五個荘町	4	9	-	-	-	-	13	-	-	-
能登川町	4	24	-	-	-	-	28	-	-	-

(単位 km²)

結 堆 積 物						深成岩	半 深 成 岩			合 計	備 考
砂質粘板岩	チャート	珪質粘板岩	輝緑凝灰岩	石灰岩	計	花崗岩	石英斑岩	玢岩	計		
115	3	-	-	0	118	83	2	-	2	303	
21	-	-	-	-	21	-	1	-	1	99	
0	-	-	9	-	9	-	-	-	-	46	
-	-	-	-	-	-	-	12	-	12	75	
-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	53	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	
136	3	-	9	0	148	83	18	-	18	668	
15	-	-	-	-	15	24	1	-	1	71	
7	-	-	-	-	7	15	-	-	-	53	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	
2	-	-	-	-	2	9	-	-	-	40	
2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	13	
2	-	-	-	-	2	23	3	-	3	55	
1	-	-	-	-	1	11	-	-	-	69	
66	-	-	-	-	84	20	-	-	-	126	
-	-	-	-	-	7	11	-	-	-	72	
-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	49	
28	-	-	-	-	28	106	-	-	-	164	
-	-	-	-	-	-	-	5	-	5	24	
-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	35	
25	-	-	-	0	25	2	-	-	-	118	
-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	45	
107	-	-	-	6	113	41	10	-	10	180	
-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	16	
-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	31	

表層地質 市町村名	未 固 結 堆 積 物							固		
	(扇状地) 礫	(扇状地の 砂 末端)	(古琵琶湖層) 礫	(古琵琶湖層) 粘土	(石灰石) 碎屑物	(花崗岩) 碎屑物	計	(中新層の山 内相鮎河層) 砂岩、泥岩、 礫岩	粘板岩	砂岩
愛 東 村	-	15	6	-	-	-	21	-	-	-
湖 東 町	1	18	1	-	-	-	20	-	-	-
秦 莊 町	1	16	2	-	-	-	19	-	-	-
愛 知 川 町	12	1	-	-	-	-	13	-	-	-
豊 郷 町	6	2	-	-	-	-	8	-	-	-
甲 良 町	1	12	1	-	-	-	14	-	-	-
多 賀 町	-	17	2	-	-	-	19	-	3	-
山 東 町	-	25	3	-	-	-	28	-	-	-
伊 吹 町	-	4	8	-	2	-	14	-	-	3
米 原 町	6	12	-	-	-	-	18	-	-	-
近 江 町	3	10	-	-	-	-	13	-	-	-
浅 井 町	-	16	3	-	-	-	19	-	-	-
虎 姫 町	4	5	-	-	-	-	9	-	-	-
湖 北 町	14	8	-	-	-	-	22	-	-	-
び わ 町	17	0	-	-	-	-	17	-	-	-
高 月 町	10	13	-	-	-	-	23	-	-	-
木 之 本 町	0	8	-	-	-	-	8	-	-	-
余 呉 町	-	6	-	-	-	-	6	-	-	-
西 浅 井 町	-	8	-	-	-	-	8	-	-	-
マ キ ノ 町	2	17	2	-	-	-	21	-	-	-
今 津 町	4	14	8	-	-	-	26	-	-	-
朽 木 村	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-
安 曇 川 町	13	12	19	-	-	-	44	-	-	-
高 島 町	1	21	3	-	-	-	25	-	-	-
新 旭 町	13	4	16	-	-	-	33	-	-	-
町 村 計	165	533	156	127	2	51	1,034	25	3	8
県 計	366	693	182	158	2	52	1,453	25	3	8

定 堆 積 物						深成岩	半 深 成 岩			合 計	備 考
砂質粘板岩	チャート	珪質粘板岩	輝緑凝灰岩	石灰岩	計	花崗岩	石英斑岩	玢岩	計		
1	-	-	-	-	1	-	20	-	20	42	
-	-	-	-	-	-	-	6	-	6	26	
-	-	-	-	-	-	-	6	-	6	25	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	
-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	15	
88	-	-	-	3	94	-	21	-	21	135	
14	6	-	4	1	25	-	-	-	-	53	
42	0	-	-	18	68	26	-	-	-	108	
12	0	-	-	13	25	-	-	-	-	43	
1	2	-	2	-	5	-	-	-	-	18	
68	-	-	-	-	68	0	-	-	-	87	
1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	10	
8	-	-	-	-	8	-	-	-	-	30	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	
5	-	-	-	-	5	-	-	-	-	28	
81	-	-	-	-	81	-	-	-	-	89	
161	-	-	-	-	161	-	-	-	-	169	湖2を含む
33	-	-	-	-	33	24	1	-	1	66	
33	-	-	-	-	33	24	-	-	-	78	
95	-	-	-	-	95	-	-	-	-	121	
165	2	-	-	-	167	-	-	-	-	167	
4	-	-	-	-	4	-	-	-	-	48	
17	-	-	2	-	20	19	0	-	0	64	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	
1,084	10	-	8	41	1,179	378	80	-	80	2,673	
1,220	13	-	17	41	1,327	461	98	-	98	4,016	琵琶湖 675

2-5 土壤統群分布面積市町村別内訳

土壤統計 市町村	岩石地		未熟土			黒ボク土						褐色森林土									
	岩石地	計	残積性未熟土	粗粒残積性未熟土	計	厚層黒ボク土	黒ボク土	多湿黒ボク土	粗粒多湿黒ボク土	黒ボククライ土	淡色黒ボク土	計	乾性褐色森林土	乾性褐色森林土(赤褐色)	褐色森林土I型	褐色森林土(赤褐色)I型	褐色森林土II型	褐色森林土(赤褐色)II型	褐色森林土(黄褐色)	褐色森林土(暗褐色)	計
大津市	-	-	12	40	52	-	-	-	-	-	-	-	30	-	28	22	75	-	-	-	155
彦根市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4	-	18	-	-	-	26
長浜市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	6
近江八幡市	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	3	6	-	7	-	-	-	-	-	-	13
八日市市	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	13	10	-	-	-	-	-	-	2	-	12
草津市	-	-	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0
守山市	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市計	-	-	17	41	58	-	-	16	-	-	16	53	-	39	22	96	-	2	-	-	212
志賀町	-	-	6	27	33	-	2	-	-	-	2	-	5	7	-	9	-	-	-	-	21
栗東町	-	-	6	4	10	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	5	-	-	-	15
中主町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
野洲町	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	8
石部町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	8
甲西町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	13	-	6	-	6	0	-	-	31
水口町	-	-	17	-	17	-	0	-	-	-	0	-	-	-	13	-	-	1	-	-	14
土山町	-	-	-	3	3	-	3	1	-	-	4	7	-	16	-	74	-	-	-	-	97
甲賀町	-	-	18	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	18	-	-	-	-	24
甲南町	-	-	8	-	8	-	1	-	-	-	1	-	8	3	9	-	-	-	-	-	20
信楽町	-	-	-	20	20	-	-	-	-	-	-	8	32	-	44	22	16	-	-	-	122
安土町	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	2	-	2	-	-	-	-	-	-	4
蒲生町	-	-	6	-	6	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	6
日野町	-	-	9	-	9	-	-	3	-	-	3	7	-	8	13	31	-	-	-	-	59
竜王町	-	-	-	6	6	-	-	-	-	-	-	3	9	-	-	-	-	-	-	-	12
永源寺町	-	-	4	3	7	-	2	1	-	1	4	20	4	5	-	127	-	0	1	-	157
五個荘町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	5
能登川町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3

ポドゾル		赤黄色土			褐色低地土			灰色低地土壌				グライ土				泥炭土			未区分地	合計
湿性ポドゾル化土壌	計	赤色土壌	黄色土壌	計	褐色低地土壌	粗粒褐色低地土壌	計	細粒灰色低地土壌	灰色低地土壌	粗粒灰色低地土壌	計	細粒グライ土壌	グライ土壌	粗粒グライ土壌	計	低位泥炭土壌	黒泥土壌	計		
																			-	-
-	-	1	-	1	6	0	6	3	1	0	4	22	8	1	31	1	-	1	30	99
-	-	1	-	1	1	-	1	2	2	3	7	5	10	2	17	-	-	-	14	46
-	-	4	0	1	-	1	1	8	2	1	11	18	4	3	25	1	-	1	17	75
-	-	-	2	2	1	2	3	3	-	0	3	2	1	0	3	0	-	0	17	53
-	-	0	1	1	-	1	1	4	5	1	10	6	3	1	10	-	-	-	21	48
-	-	-	0	0	1	0	1	2	4	-	6	5	13	2	20	-	-	-	16	44
-	-	7	16	23	9	5	14	25	23	9	57	61	41	10	112	2	-	2	174	668
-	-	-	2	2	1	0	1	0	2	1	3	0	1	1	2	-	-	-	7	71
-	-	-	1	1	2	-	2	2	3	1	6	0	4	0	4	-	-	-	15	53
-	-	-	-	-	0	0	0	-	1	-	1	2	7	3	12	1	-	1	7	21
-	-	-	-	-	2	0	2	2	4	0	6	1	5	2	8	-	-	-	13	40
-	-	-	-	-	0	-	0	0	2	0	2	0	-	-	0	-	-	-	3	13
-	-	-	-	-	0	1	1	1	5	2	8	1	1	0	2	-	-	-	13	55
-	-	-	0	0	0	0	0	4	4	2	10	8	2	0	10	-	-	-	18	69
-	-	-	1	1	2	1	3	1	3	1	5	2	0	0	2	-	-	-	11	126
-	-	-	1	1	1	0	1	2	1	1	4	0	12	0	12	-	-	-	12	72
-	-	-	1	1	1	0	1	2	1	0	3	0	8	1	9	-	-	-	6	49
-	-	-	1	1	2	0	2	2	2	0	4	1	2	0	3	-	-	-	12	164
-	-	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	7	0	1	8	2	0	2	6	24
-	-	-	1	1	1	0	1	4	0	2	6	5	0	1	6	-	-	-	9	35
-	-	-	2	2	3	0	3	3	3	2	8	10	3	0	13	-	-	-	21	118
-	-	-	2	2	0	0	0	3	1	0	4	3	2	4	9	-	-	-	12	45
-	-	-	4	4	0	0	0	1	0	1	2	0	-	-	0	-	-	-	6	180
-	-	-	-	-	0	-	0	2	2	0	4	3	0	0	3	-	-	-	4	16
-	-	-	-	-	1	0	1	1	1	0	2	10	2	3	15	1	0	1	9	31

土壌統群 市町村	岩石地		未熟土		黒ボク土						褐色森林土										
	岩	計	残積性未熟土壌	粗粒残積性未熟土壌	計	厚層黒ボク土壌	黒ボク土壌	多湿黒ボク土壌	粗粒多湿黒ボク土壌	黒ボクグライ土壌	淡色黒ボク土壌	計	乾性褐色森林土壌	乾性褐色森林土壌(赤褐色系)	褐色森林土壌I型	褐色森林土壌I型(赤褐色系)	褐色森林土壌II型	褐色森林土壌II型(赤褐色系)	褐色森林土壌(黄褐色系)	褐色森林土壌(暗色系)	計
愛東町	-	-	7	-	7	-	1	1	-	-	-	2	5	5	4	-	3	-	2	-	19
湖東町	-	-	2	-	2	-	-	2	-	-	-	2	1	-	3	-	1	-	3	-	8
秦荘町	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	1	-	3	-	10
愛知川町	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	0	1	-	-	-	-	-	1	-	2
豊郷町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲良町	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	2
多賀町	-	-	2	-	2	-	0	-	-	-	-	0	9	-	27	-	79	-	-	-	115
山東町	-	-	-	-	-	-	4	1	-	1	-	6	4	-	5	-	18	-	0	-	27
伊吹町	1	1	-	6	6	0	4	0	-	-	-	4	7	-	13	-	60	-	2	-	82
米原町	-	-	2	-	2	-	0	-	-	-	-	0	2	-	6	-	20	-	-	-	28
近江町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	5
浅井町	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	5	-	11	-	46	-	1	-	63
虎姫町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
湖北町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	3	-	-	-	9
びわ町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高月町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	5	-	-	-	10
木之本町	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	3	-	13	-	59	-	-	-	75
余呉町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	22	-	131	-	-	-	158
西浅井町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	17	27	-	-	-	53
マキノ町	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	0	2	-	-	9	3	48	-	1	-	61
今津町	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	3	19	-	6	-	72	-	-	-	97
朽木村	-	-	-	-	-	0	-	1	-	-	-	1	16	-	15	-	124	-	-	-	155
安曇川町	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	0	4	-	-	2	-	10	-	1	0	13
高島町	-	-	-	8	8	-	-	-	-	-	-	-	7	-	15	-	16	-	-	-	38
新旭町	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	5	-	-	1	-	-	-	-	-	1
町村計	1	1	90	80	170	0	31	14	0	1	1	47	175	82	218	105	1,007	35	15	1	1,638
県計	1	1	107	121	228	0	31	30	0	1	1	63	228	82	257	127	1,103	35	17	1	1,850

ポドゾル		赤黄色土			褐色低地土			灰色低地土壌				グライ土				泥炭土			未 区 分 地	合 計
湿性ポドゾル 化土壌	計	赤 色 土 壌	黄 色 土 壌	計	褐 色 低 地 土 壌	粗 粒 褐 色 低 地 土 壌	計	細 粒 灰 色 低 地 土 壌	灰 色 低 地 土 壌	粗 粒 灰 色 低 地 土 壌	計	細 粒 グ ラ イ 土 壌	グ ラ イ 土 壌	粗 粒 グ ラ イ 土 壌	計	低 位 泥 炭 土 壌	黒 泥 土 壌	計		
-	-	-	3	3	-	-	-	0	1	1	2	0	2	-	2	-	-	-	7	42
-	-	-	3	3	1	0	1	1	1	1	3	-	-	1	1	-	-	-	6	26
-	-	-	0	0	5	-	5	0	1	0	1	1	1	-	2	-	-	-	4	25
-	-	-	-	-	0	-	0	1	3	0	4	1	1	1	3	-	-	-	4	13
-	-	-	-	-	2	-	2	1	1	-	2	1	0	0	1	-	-	-	3	8
-	-	-	0	0	3	-	3	2	1	2	5	-	-	-	-	-	-	-	4	15
-	-	1	0	1	3	-	3	0	3	0	3	1	-	-	1	-	-	-	9	134
-	-	5	1	6	-	-	-	0	1	0	1	5	-	0	5	0	-	0	8	53
-	-	3	1	4	0	-	0	-	0	1	1	1	-	-	1	-	-	-	9	108
-	-	-	-	-	0	-	0	1	0	1	2	4	0	1	5	2	-	2	4	43
-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	0	1	6	1	0	7	-	-	-	4	18
-	-	-	-	-	-	1	1	3	2	3	8	3	1	1	5	-	-	-	9	87
-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	0	0	4	1	1	6	-	-	-	3	10
-	-	-	-	-	2	0	2	0	1	1	2	8	1	1	10	1	-	1	6	30
-	-	-	-	-	3	0	3	-	-	0	0	8	1	0	9	0	-	0	5	17
-	-	-	0	0	5	1	6	1	1	1	3	4	1	0	5	0	-	0	4	28
1	1	1	0	1	0	1	1	1	1	-	2	2	0	0	2	0	-	0	7	89
1	1	-	0	0	0	2	2	-	-	0	0	-	3	1	4	-	-	-	4	169
-	-	-	1	1	1	-	1	-	1	0	1	1	2	1	4	0	-	0	6	66
-	-	-	2	2	0	1	1	0	-	0	0	1	2	3	6	0	-	0	6	78
-	-	-	3	3	-	1	1	1	0	1	2	2	1	1	4	-	0	0	11	121
-	-	-	1	1	1	0	1	-	-	0	0	1	-	-	1	0	-	0	8	167
-	-	-	1	1	1	1	2	2	0	1	3	3	3	2	8	-	-	-	17	48
-	-	-	4	4	1	-	1	-	3	-	3	1	1	1	3	-	0	0	6	63
-	-	-	1	1	-	0	0	1	-	1	2	2	1	3	6	1	-	1	17	33
2	2	12	37	49	44	10	54	46	57	27	130	113	72	34	219	8	0	8	355	2,673
2	2	19	53	72	53	15	68	71	80	36	187	174	113	44	331	10	0	10	529	4,016

3. 土地利用可能性分級

3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳

(単位: km²)

土地利用 可能性分級 市町村	1 類地	2 類地	3 類地	4 類地	5 類地	6 類地	7 類地	8 類地 (未区分地)	合 計
大 津 市	-	16	31	125	72	-	-	59	303
彦 根 市	-	30	17	15	7	-	-	30	99
長 浜 市	-	16	7	9	-	-	-	14	46
近江八幡市	-	30	11	15	2	-	-	17	75
八 日 市 市	-	23	5	8	-	-	-	17	53
草 津 市	-	18	2	7	-	-	-	21	48
守 山 市	-	20	8	-	-	-	-	16	44
市 計	-	153	81	179	81	-	-	174	668
志 賀 町	-	3	10	25	26	-	-	7	71
栗 東 町	-	9	10	13	6	-	-	15	53
中 主 町	-	9	5	-	-	-	-	7	21
野 洲 町	-	9	7	11	-	-	-	13	40
石 部 町	-	-	7	3	-	-	-	3	13
甲 西 町	-	3	9	30	-	-	-	13	55
水 口 町	-	8	11	32	-	-	-	18	69
土 山 町	-	4	7	59	45	-	-	11	126
甲 賀 町	-	3	27	30	-	-	-	12	72
甲 南 町	-	4	8	28	3	-	-	6	49
信 楽 町	-	-	7	117	28	-	-	12	164
安 土 町	-	6	5	7	-	-	-	6	24
蒲 生 町	-	15	5	6	-	-	-	9	35
日 野 町	-	14	12	62	9	-	-	21	118
竜 王 町	-	10	6	17	-	-	-	12	45
永 源 寺 町	-	6	6	51	104	7	-	6	180
五 個 荘 町	-	6	2	4	-	-	-	4	16
能 登 川 町	-	8	10	4	-	-	-	9	31
愛 東 町	-	8	4	16	7	-	-	7	42

土地利用 可能性分級 市町村	1 類地	2 類地	3 類地	4 類地	5 類地	6 類地	7 類地	8 類地 (未区分地)	合 計
湖 東 町	-	8	6	6	-	-	-	6	26
秦 荘 町	-	10	3	6	2	-	-	4	25
愛知川町	-	6	3	-	-	-	-	4	13
豊 郷 町	-	5	0	-	-	-	-	3	8
甲 良 町	-	6	3	2	-	-	-	4	15
多 賀 町	-	4	10	62	49	-	-	9	134
山 東 町	-	3	10	22	10	-	-	8	53
伊 吹 町	-	2	12	34	45	6	-	9	108
米 原 町	-	2	11	18	8	-	-	4	43
近 江 町	-	2	7	5	-	-	-	4	18
浅 井 町	-	9	12	16	38	3	-	9	87
虎 姫 町	-	5	2	-	-	-	-	3	10
湖 北 町	-	10	6	5	3	-	-	6	30
び わ 町	-	8	4	-	0	-	-	5	17
高 月 町	-	10	8	4	2	-	-	4	28
木之本町	-	3	6	30	41	2	-	7	89
余 呉 町	-	2	13	24	121	5	-	4	169
西 浅 井 町	-	2	10	34	14	-	-	6	66
マキノ町	-	1	14	35	22	-	-	6	78
今 津 町	-	6	12	18	74	-	-	11	121
朽 木 村	-	0	7	36	113	3	-	8	167
安 曇 川 町	-	6	13	12	-	-	-	17	48
高 島 町	-	4	8	26	19	-	-	6	63
新 旭 町	-	2	8	6	-	-	-	17	33
町 村 計	-	241	346	916	789	26	-	355	2,673
県 計	-	394	427	1,095	870	26	-	529	4,016
									琵琶湖 675

3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連

3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連

土地利用可能性分級 地形区分	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
山地・火山地	-	-	10	752	841	26	-	264	1,893	琵琶湖 (675)
丘陵地	-	21	43	283	22	-	-	-	369	
合地・段丘	-	21	55	39	7	-	-	101	223	
低地	-	352	329	21	-	-	-	164	856	
合計	-	394	427	1,095	870	26	-	529	4,016	

3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連

土地利用可能性分級 傾斜	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
0° ~ 3° (S ₁)	-	379	332	-	-	-	-	285	996	琵琶湖 675
3° ~ 8° (S ₂)	-	15	32	4	10	-	-	34	95	
8° ~ 15° (S ₃)	-	-	2	27	65	-	-	150	244	
15° ~ 30° (S ₄)	-	-	61	735	344	-	-	43	1,183	
30° ~ 40° (S ₅)	-	-	-	329	451	6	-	17	803	
40° ~ (S ₆)	-	-	-	-	-	20	-	-	20	
合計	-	394	427	1,095	870	26	-	529	4,016	

3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分の関連

(単位：km²)

土地利用可能性分級 標高区分	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
低暖地帯(H ₁)	-	394	377	920	84	-	-	524	2,299	琵琶湖 675
山間地帯(H ₂)	-	-	50	151	673	-	-	5	879	
高冷地帯(H ₃)	-	-	-	24	113	26	-	-	163	
生産限界外地帯(H ₄)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	-	394	427	1,095	870	26	-	529	4,016	

3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連

土地利用可能性分級 土壌生産力可能性等級区分	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
はなはだよい(P ₁)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	琵琶湖 675
ややよい(P ₂)	-	394	59	715	398	-	-	-	1,566	
やや劣る(P ₃)	-	-	226	300	323	-	-	-	849	
劣る(P ₄)	-	-	142	80	149	26	-	-	397	
はなはだ劣る(P ₅)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
未区分地	-	-	-	-	-	-	-	529	529	
合計	-	394	427	1,095	870	26	-	529	4,016	

3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要

土地利用可能性分級 地域の概要		1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地	
地 域 名 (団 地 名)			湖 東	湖 西	湖 南	
地 形	傾 斜 (谷 密 度)		S ₁ (0~3) (0)	S ₁ (0~3) (0)	S ₃₋₄ (8~30) (25)	
	標 高 (植 栽 限 界)		200 m 以下 (200)	100 m 以下 (100)	600 m 以下 (600)	
表 層 地 質	岩 岩 の 種 類		非固結堆積岩	非固結堆積岩	花 崗 岩	
	岩 石 の か た さ		1 - a 軟	1 - a 軟	2 - b 中	
	時 代		沖 積 世	沖 積 世	-	
土 壤	農 田	土 壤 統 群 生 産 力 可 能 性 分 類		グ ラ イ 土 壤 II	グ ラ イ 土 壤 III	褐 色 低 地 土 II
		土 壤 統 群 生 産 力 可 能 性 等 級		褐 色 低 地 土 III	黄 色 土 黒 ボ ク 土 III	黄 色 土, 褐 色 森 林 土 III
	草 地	土 壤 統 群 生 産 力 可 能 性 等 級	-	-	-	黄 色 土 III
	林 地	土 壤 統 群	-	-	-	未 熟 土 (粗 粒)
		地 位 級	-	-	-	III
水 利 用	地 表 水	-	○	○	○	
	地 下 水	-	△	×	×	
	天 水	-	×	×	○	
気 候 区 分		-	表 日 本	裏 日 本	表 日 本	
面	土 地 利 用 可 能 性 類 地 別 面 積 県 内 合 計 (A)	-	394	427	1,095	
	当 該 地 域 の 類 地 別 面 積 県 内 合 計 (B)	-	267	103	187	
積	% (B/A)	-	68	24	17	

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地	備 考
湖 西	湖 北	-	湖 南	
S ₅₋₆ (30~) (25)	S ₅₋₆ (30~) (29)	-	S ₂ (3~8) (10)	
1,000 m 以下 (1,000)	800 m 以上 (1,000)	-	200 m 以下 (200)	
砂質粘板岩	石 灰 岩	-	非固結堆積岩	
2 - c 中硬	2 - b 軟	-	1 - a 軟	
古 生 代	古 生 代	-	沖 積 世	
-	-	-	-	
黄 色 土 Ⅲ	-	-	-	
-	-	-	-	
褐色森林土 (I)	褐色森林土 (I)			
I	II	-	-	
△	×	-	-	○ 利用
×	×	-	-	△ 若干利用
○	○	-	-	×
裏 日 本	裏 日 本	-	-	
870	26	-	529	計 3,341 (琵琶湖 675 含めず)
115	6	-	216	
13	23	-	41	

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分 おおよび包含される 示性式		土 地 利 用 の 現 況												備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地					空地・ その他	
			土 利 占 有 率	平 均 収 獲 量 率	土 利 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 獲 量 率	土 利 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 獲 量 率	土 地 利 用 占 有 率	草 地 の 種 類 お よ び 平 均 収 獲 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 獲 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 獲 量 率			
大津市	1 類地																
	2 類地	1.12 1.22		A	90												
	3 類地	1.13 1.33 1.23 2.22 1.31 2.32 1.32	16	C	83								B	広葉樹 ザツ			
	4 類地	1.42 1.43 2.23	31								C	スギ 98	B	ザツ			
	5 類地	1.53 2.54 1.54 2.53	125										C	マツ			
	6 類地		72														
	7 類地		-														
	8 類地		59														
市町村計		303															
根彦市	1 類地		-														
	2 類地		30														
	3 類地	1.23 2.32 1.32 2.22 1.33	17										A	ザツ			
	4 類地	1.42 2.43 1.43 2.33 2.42	15								C	スギ 95	B	ザツ			
	5 類地	1.52 2.53 1.53 2.52 1.54	7										A	マツ			
	6 類地		-														
	7 類地		-														
	8 類地		30														
市町村計		99															

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空地・その他	
	類地区分および包含される示性式	面積	土地利用占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		土地利用占有率	草地の種類および平均収穫量率	人工林		天然林		土地利用占有率	
					土地利用占有率	主要作物および平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種および平均収穫量率			土地利用占有率	主要樹種および平均収穫量率	土地利用占有率			主要樹種および平均収穫量率
長 浜 市	1 類地															
	2 類地	1.12	16	A	112											
	3 類地	1.13	7	B	105							A	マツ			
	4 類地		9									A	マツ			
	5 類地		—													
	6 類地		—													
	7 類地		—													
	8 類地		14													
市 町 村 計		46														
近 江 八 幡 市	1 類地															
	2 類地	1.12	30	A	106											
	3 類地	1.13 1.22 1.23	11	A	107							B	マツ			
	4 類地	1.43 1.44	15								B	ヒノキ 96	A	マツ		
	5 類地	1.45	2										A	マツ		
	6 類地		—													
	7 類地		—													
	8 類地		17													
市 町 村 計		75														

市町村名	類地区分 よび包含式		土地利用の現況											備考			
			水田		畑			草地		林地					空地・その他		
			土地利用 占有率	平均収 穫量率	普通畑 土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	樹園地 土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	草地の種 類および 平均収穫 量率	人工林 土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	天然林 土地利用 占有率		主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	
八日市	1 類地		-														
	2 類地	1.12 1.22	23	A	102												
	3 類地	1.13 1.32 1.23 1.33	5	B	95												
	4 類地	1.24 1.44	8									D	マツ				
	5 類地		-														
	6 類地		-														
	7 類地		-														
	8 類地		17														
市町村計			53														
草津市	1 類地		-														
	2 類地	1.12 1.22	18	A	98												
	3 類地	1.13 1.13 1.23 1.32	2	B	90	C	野菜 110										
	4 類地	1.24 1.42 1.34 1.43	7								A	マツ					
	5 類地		-														
	6 類地		-														
	7 類地		-														
	8 類地		21														
市町村計			48														

市町村名	類地区分 よび包含式		土地利用の現況											備考			
			水田		畑			草地		林地					空地・その他		
			土地利用 占有率	平均収 穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	草地の種 類および 平均収穫 量率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率		主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	
守山 市	1 類地		-														
	2 類地	1.12 1.13	20	A	107							-		-			
	3 類地		8	B	100							-		-			
	4 類地		-														
	5 類地		-														
	6 類地		-														
	7 類地		-														
	8 類地		16														
	市町村計		44														
志賀 町	1 類地		-														
	2 類地	1.12 1.22	3	A	90												
	3 類地	1.13 1.32 1.23	10	B	83							D	スギ 90				
	4 類地	1.42 1.44 1.43 2.43	25											A	ザツ		
	5 類地	1.52 2.53 1.53 2.54 2.44	26											B	マツ		
	6 類地		-														
	7 類地		-														
	8 類地		7														
	市町村計		71														

市町村名	類地区分 および包含される示性式		土地利用の現況													備考	
			水田		畑				草地		林地				空地・その他		
					普通畑	樹園地		土地利用	草地の種類および平均収穫率	人工林		天然林					
面積	土地利用占有率	平均収穫率	土地利用占有率	主要作物および平均収穫率	土地利用占有率	主要樹種および平均収穫率	土地利用占有率	量	平均収穫率	土地利用占有率	主要樹種および平均収穫率	土地利用占有率	主要樹種および平均収穫率	土地利用占有率			
栗 東 町	1 類地		-														
	2 類地	1.12 1.22	9	A	100												
	3 類地	1.13 1.33 1.23 1.32	10	C	95												
	4 類地	1.34 1.42 1.43	13								O	スギ	C	マツ			
	5 類地	1.44 2.34	6										B	ザツ			
	6 類地		-														
	7 類地		-														
	8 類地		15														
市町村計		53															
中 主 町	1 類地		-														
	2 類地	1.12	9	A	112												
	3 類地	1.13	5	A	107												
	4 類地		-														
	5 類地		-														
	6 類地		-														
	7 類地		-														
	8 類地		7														
市町村計		21															

市町 村名	類地区分 および おさ される 形式		土地利 用の 現況												備考			
			水田		畑			草 地		林 地			空地・ その他					
			土 利 用 占 有 率	平 均 収 穫 量 率	土 利 用 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 利 用 占 有 率	草 地 の 種 類 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率		土 利 用 占 有 率		
石 部 町	1 類 地		-															
	2 類 地		-															
	3 類 地	1.13 1.32 1.33	7	A	95													
	4 類 地	1.14 1.34 1.43	3	B	83													
	5 類 地		-															
	6 類 地		-															
	7 類 地		-															
	8 類 地		3															
市町村計		13																
甲 西 町	1 類 地		-															
	2 類 地	1.12	3	A	95													
	3 類 地	1.13 1.32 1.33	9	C	83							A	マ	ツ				
	4 類 地	1.14 1.34 1.43	30									B	マ	ツ				
	5 類 地		-															
	6 類 地		-															
	7 類 地		-															
	8 類 地		13															
市町村計		55																

市町村名	類地区分 おおよそ 包含される 形式		土 地 利 用 の 現 況													備 考	
			水 田		畑				草 地		林 地						空地・ その他
			土 利 占 有 率	平 均 収 穫 量 率	普 通 畑	樹 園 地		土 地 利 用 占 有 率	草 地 の 種 類 お よ び 平 均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林					
		土 地 利 用 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率			土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率					
水 口 町	1 類 地																
	2 類 地	1.12	8	A	100												
	3 類 地	1.13 1.32 1.33	11	A	90								B	ザ ン			
	4 類 地	1.24 1.44 1.34 1.43	32										B	マ ン			
	5 類 地		-														
	6 類 地		-														
	7 類 地		-														
	8 類 地		18														
市 町 村 計		69															
土 山 町	1 類 地		-														
	2 類 地	1.12	4	A	95												
	3 類 地	1.13 1.32 1.33	7				O	茶 120					C	ザ ン			
	4 類 地	1.42 1.43	59									B	ス ギ 120	B	ザ ン		
	5 類 地	1.53 1.54 2.44	45											A	ザ ン		
	6 類 地		-														
	7 類 地		-														
	8 類 地		11														
市 町 村 計		126															

市町村名	類地区分 および包含される示性式		土地利用の現況												備考		
			水田		畑				草地		林地					空地・その他	
					普通畑		樹園地		土地利用 占有率	草地の種 類および 平均収穫 量率	人工林		天然林				
					土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率			土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率			
甲 賀 町	1 類地																
	2 類地	1.12	3	A	100												
	3 類地	1.13 1.32 1.33	27	C	93		C	茶 98				B	ザン				
	4 類地	1.34 2.43 1.42 1.43	30								C	ヒノキ 98	A	マツ			
	5 類地		-														
	6 類地		-														
	7 類地		-														
	8 類地		12														
市町村計		72															
南 甲 町	1 類地		-														
	2 類地	1.12	4	A	100												
	3 類地	1.13 1.33	8	A	95		D	桑 83 茶 106			C	スギ 92					
	4 類地	1.42 1.43 1.44	28									B	マツ				
	5 類地	2.44	3									A	マツ				
	6 類地		-														
	7 類地		-														
	8 類地		6														
市町村計		49															

市町村名	地区区分 おさ びる 示		土地利用の現況												備考			
			水田			畑				草地		林地				空地・その他		
						普通畑		樹園地		土地利用 占有率	草地の種 類および 平均収穫 量	人工林		天然林				
			土 利 占 有 率	地 用 占 有 率	平 均 収 穫 量 率	土 利 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量	土 利 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量			土 利 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量	土 利 占 有 率		主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量	土 利 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量
野 州 町	1 類 地		-															
	2 類 地	1.12	9	A	107													
	3 類 地	1.13	7	B	100													
	4 類 地	1.43 1.44	11										A	マツ				
	5 類 地		-															
	6 類 地		-															
	7 類 地		-															
	8 類 地		13															
市町村計			40															
信 楽 町	1 類 地		-															
	2 類 地		-															
	3 類 地	1.32 1.33 2.32	7	A	93									B	ザツ			
	4 類 地	1.42 1.43 2.43	117				D	茶 98				C	スギ 102	A	マツ			
	5 類 地	1.32 1.43 2.43	28											B	マツ			
	6 類 地		-															
	7 類 地		-															
	8 類 地		12															
市町村計			164															

市町 村名	類地区分 および包含 される示性 式		土地利用の現況											備考				
			水田		畑				草地		林地				空地・ その他			
			土 利 占 有 率	平 均 収 穫 量 率	普 通 畑 土 利 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	樹 園 地 土 利 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	草 地 の 種 類 お よ び 平 均 収 穫 量 率	人 工 林 土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	天 然 林 土 地 利 用 占 有 率		主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率		
安 土 町	1 類 地	-																
	2 類 地	1.12	6	A	110													
	3 類 地	1.13	5	A	110													
	4 類 地	1.42 1.43	7											B	マツ			
	5 類 地	-																
	6 類 地	-																
	7 類 地	-																
	8 類 地	6																
市町村計		24																
蒲 生 町	1 類 地	-																
	2 類 地	1.12 1.22	15	B	105													
	3 類 地	1.13 1.33 1.23 1.32	5	A	98													
	4 類 地	1.24 1.43 1.34 1.42	6											B	マツ			
	5 類 地	-																
	6 類 地	-																
	7 類 地	-																
	8 類 地	9																
市町村計		35																

市町村名	類地区区分 おさ よび 包含 式		土地利用の現況											備考			
			水田		畑				草地		林地				空地・その他		
			土地 占有 率	平均 収 穫 率	普通 畑	樹 園 地	土 地 利 用 占 有 率	草 地 の 種 類 お よ び 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 率	人 工 林	天 然 林	土 地 利 用 占 有 率		主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 占 有 率	
日野町	1 類地		-														
	2 類地	1.12 1.22	14	A	100												
	3 類地	1.23 1.32 1.33	12	B	90								A	マツ			
	4 類地	1.24 1.43 1.34 1.42	62								C	スギ 105	A	ザツ			
	5 類地	1.43 1.44	9										B	マツ			
	6 類地		-														
	7 類地		-														
	8 類地		21														
市町村計			118														
竜王町	1 類地		-														
	2 類地	1.12 1.22	10	A	105												
	3 類地	1.13 1.23 1.33	6	A	95												
	4 類地	1.42 1.43	17										A	マツ			
	5 類地		-														
	6 類地		-														
	7 類地		-														
	8 類地		12														
市町村計			45														

市町村名	類地区分		土地利用の現況											備考		
			水田		畑				草地		林地				空地・その他	
					普通	畑	樹園地	土地	草地の種	人工林	天然林	その他				
類地区分および包含される示性式	面積	土地利用占有率	平均収獲量率	土地利用占有率	主要作物および平均収獲量率	土地利用占有率	主要樹種および平均収獲量率	土地利用占有率	草地の種および平均収獲量率	土地利用占有率	主要樹種および平均収獲量率	土地利用占有率	主要樹種および平均収獲量率	土地利用占有率		
永源寺町	1類地															
	2類地	1.12	6	A	100											
	3類地	1.13 1.32 1.33	6	B	93								B	ザツ		
	4類地	1.34 1.43 2.13	51				D	茶 87			C	スギ 106	C	マツ		
	5類地	2.34 2.44 2.52	104										B	ザツ		
	6類地	2.24 2.24	7													
	7類地		-													
	8類地		6													
市町村計		180														
五個荘町	1類地		-													
	2類地	1.12	6	A	105											
	3類地	1.13	2	B	98											
	4類地	1.43	4										B	ヤツ		
	5類地		-													
	6類地		-													
	7類地		-													
	8類地		4													
市町村計		16														

市町村名	類地区分		土地利用の現況														備考
			水田		畑				草地		林地				空地・その他		
	類地区分および包含される示性式	面積	土地利用占有率	平均収穫量率	土地利用占有率	主要作物および平均収穫量率	土地利用占有率	樹園地および平均収穫量率	土地利用占有率	草地の種類および平均収穫量率	人工林		天然林		土地利用占有率	土地利用占有率	
											土地利用占有率	平均収穫量率	土地利用占有率	平均収穫量率			
能登川町	1類地		—														
	2類地	1.12	8	A	106												
	3類地	1.13	10	A	102												
	4類地	1.42 1.43	4										B	マツ			
	5類地		—														
	6類地		—														
	7類地		—														
	8類地		9														
市町村計		31															
愛東町	1類地		—														
	2類地	1.12 1.22	8	A	105												
	3類地	1.13 1.23 1.32	4	A	98												
	4類地	1.24 1.34 1.42 1.43	16								D	スギ 95	B	マツ			
	5類地	2.24 2.34 2.44	7										B	ザツ			
	6類地		—														
	7類地		—														
	8類地		7														
市町村計		42															

市 町 村 名	類地区分 おとび包含される 示性式		土 地 利 用 の 現 況												備 考		
			水 田			畑				草 地		林 地				空地・ その他	
						普通畑		樹園地		土 地 利 用 占 有 率	草 地 の 種 類 お と び 平 均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林			
			土 利 占 有 率	地 用 占 有 率	平 均 収 穫 量 率	土 利 占 有 率	主 要 作 物 お と び 平 均 収 穫 量 率	土 利 占 有 率	主 要 樹 種 お と び 平 均 収 穫 量 率			土 利 占 有 率	主 要 樹 種 お と び 平 均 収 穫 量 率	土 利 占 有 率		主 要 樹 種 お と び 平 均 収 穫 量 率	土 利 占 有 率
湖 東 町	1 類地		—														
	2 類地	1.12	8	A	110												
	3 類地	1.13 1.23	6	B	102							C	スギ 96	C	マツ		
	4 類地	1.24	6											A	ザツ		
	5 類地		—														
	6 類地		—														
	7 類地		—														
	8 類地		6														
市 町 村 計			26														
秦 荘 町	1 類地		—														
	2 類地	1.12	10	A	107												
	3 類地	1.13 1.32 1.33	3	C	102												
	4 類地	1.42 1.43 2.23 2.43	6									D	スギ 93	B	マツ		
	5 類地	2.34 2.44	2											A	ザツ		
	6 類地		—														
	7 類地		—														
	8 類地		4														
市 町 村 計			25														

市町村名	類地区分 および包含される示性式		土地利用の現況											備考		
			水田		畑			草地		林地					空地・その他	
					普通畑	樹園地		土地利用	草地の種類および平均収穫率	人工林		天然林				
面積	土地利用占有率	平均収穫率	土地利用占有率	主要作物および平均収穫率	土地利用占有率	主要樹種および平均収穫率	土地利用占有率	平均収穫率	土地利用占有率	主要樹種および平均収穫率	土地利用占有率	主要樹種および平均収穫率	土地利用占有率			
多賀町	1類地		-													
	2類地	1.12 1.22	4	A	100											
	3類地	1.13 1.33 2.22	10	D	93							C	ザツ			
	4類地	1.44 2.42 2.43	62							B	スギ 115	C	ザツ			
	5類地	2.44 3.24 3.43	49									B	マツ			
	6類地		-													
	7類地		-													
	8類地		9													
市町村計			134													
甲良町	1類地		-													
	2類地	1.12	6	A	107											
	3類地	1.13	3	A	100											
	4類地	1.43 1.44	2									A	マツ			
	5類地		-													
	6類地		-													
	7類地		-													
	8類地		4													
市町村計			15													

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の 現 況													備 考	
			水 田		畑				草 地		林 地				空 地・ 其 他		
	類地区分および包含される示性式	面積	土地 占有 率	平均 収 穫 率	土地 占有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 率	土地 占有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 占 有 率	草 地 の 種 類 お よ び 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 占 有 率		
豊 郷 町	1 類 地		—														
	2 類 地	1.12	5	A	107												
	3 類 地	1.13	0														
	4 類 地		—														
	5 類 地		—														
	6 類 地		—														
	7 類 地		—														
	8 類 地		3														
市 町 村 計		8															
愛 知 川 町	1 類 地		—														
	2 類 地	1.12	6	A	107												
	3 類 地	1.13	3	B	98												
	4 類 地		—														
	5 類 地		—														
	6 類 地		—														
	7 類 地		—														
	8 類 地		4														
市 町 村 計		13															

市町村名	類地区分 および包含される形式		土 地 利 用 の 現 況													備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空地・その他			
			土地 占有率	平均収 穫量率	普通畑 土地 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	樹園地 土地 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地 占有率	草地の種 類および 平均収穫 量率	人工林 土地 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	天然林 土地 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地 占有率			
山 東 町	1 類地	—																
	2 類地	1.12 1.22	3	A	98													
	3 類地	1.13 1.23 1.32 1.33	10	B	88								B	マツ				
	4 類地	1.14 1.24 1.34 1.42	22									C	スギ 98	C	ザツ			
	5 類地	1.52 1.53	10											A	ザツ			
	6 類地	—																
	7 類地	—																
	8 類地	8																
市町村計		53																
米 原 町	1 類地	—																
	2 類地	1.12	2	A	102													
	3 類地	1.13 1.23 1.32 1.33	11	C	90							C	スギ 97					
	4 類地	1.24 1.42	18											B	マツ			
	5 類地	1.43 1.44	8											A	ザツ			
	6 類地	—																
	7 類地	—																
	8 類地	4																
市町村計		43																

市町村名	類地区区分 および包含される 地区区分式		土地利用の現況											備考				
			水田		畑				草地		林地				空地・その他			
			土地 占有率	平均収 穫量率	普通畑	樹園地	土地 占有率	草地の種 類および 平均収穫 量率	人工林	天然林	土地 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地 占有率		主要樹種 および平均 収穫量率	土地 占有率		
伊吹町	1 類地																	
	2 類地	1.12 1.22	2	A	90													
	3 類地	1.13 1.23 1.32 1.33	12	O	83						C	スギ 101						
	4 類地	1.14 1.24 1.34 1.43	34								C	ヒノキ 103	B	ザツ				
	5 類地	2.34 2.44 3.33 3.42	45										A	マツ				
	6 類地	2.35 3.24 3.34 3.44	6										A	ザツ				
	7 類地																	
	8 類地		9															
市町村計		108																
近江町	1 類地																	
	2 類地	1.12	2	A	114													
	3 類地	1.13	7	A	102													
	4 類地	1.14 1.42 1.43	5	C	95								A	マツ				
	5 類地																	
	6 類地																	
	7 類地																	
	8 類地		4															
市町村計		18																

市町 村名	類地区分		土地利用の現況											備考				
			水田			畑				草地		林地				空地・その他		
	面積	土地利用 占有率	平均収 穫量率	普通畑	樹園地	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率		土地利用 占有率			
浅井町	1 類地		-															
	2 類地	1.12	9	A	107													
	3 類地	1.13 1.33 2.12 2.22	232	12	C	95								A	ザツ			
	4 類地	1.24 1.34 1.44 2.23	224 242 243	16									B	スギ 105	C	マツ		
	5 類地	2.24 2.34 2.44		38											A	ザツ		
	6 類地	3.24 3.44		3											A	ザツ		
	7 類地			-														
	8 類地			9														
市町村計			87															
姫虎町	1 類地			-														
	2 類地	1.12	5	A	95													
	3 類地	1.13	2	A	105													
	4 類地			-														
	5 類地			-														
	6 類地			-														
	7 類地			-														
	8 類地			3														
市町村計			10															

市町 村名	類地区分 および包含 される示式		土地利用の現況											備考			
			水田			畑				草地		林地			空地・その他		
	面積	平均収 穫量率	土利 占有率	普通畑		樹園地		土利 占有率	草地の種 類および 平均収穫 量率	人工林		天然林			土利 占有率		
				土利 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土利 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率			土利 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土利 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率				
湖 北 町	1 類地		—														
	2 類地	1.12	10	A													
	3 類地	1.13	6	A													
	4 類地	1.43	5				D	桑 104				A	マツ				
	5 類地		3									A	マツ				
	6 類地		—														
	7 類地		—														
	8 類地		6														
市町村計		30															
び わ 町	1 類地		—														
	2 類地	1.12	8	A	1.14												
	3 類地	1.13	4	A	1.05			D	桑125								
	4 類地		—														
	5 類地	1.14	0														
	6 類地		—														
	7 類地		—														
	8 類地		5														
市町村計		17															

市町村名	地区区分 おおよそ の表示式		土地利用の現況												備考				
			水田		畑				草地		林地					空地・その他			
			土 利 占 有 率	平 均 収 穫 量 率	普 通 畑	樹 園 地	土 地 利 用 占 有 率	草 地 の 種 類 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	人 工 林	天 然 林	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率		主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率		
高 月 町	1 類 地	-																	
	2 類 地	1.12	10	A	107														
	3 類 地	1.13 2.23	8	C	100						D	スギ 93							
	4 類 地	1.22 1.42 1.43	4										A	ア ツ					
	5 類 地	2.24	2										A	ア ツ					
	6 類 地	-																	
	7 類 地	-																	
	8 類 地	4																	
市町村計		28																	
木 之 本 町	1 類 地	-																	
	2 類 地	1.12	3	A	114														
	3 類 地	1.13 2.22 2.32	6	C	90														
	4 類 地	1.42 1.43 2.43	30								B	スギ 108	C	ザ ツ					
	5 類 地	1.52 1.53 2.44	41										A	ザ ツ					
	6 類 地	2											B	マ ツ					
	7 類 地	-																	
	8 類 地	7																	
市町村計		89																	

市町村名	類地区区分 および包含される 示性式	面積	土地利用の現況											備考				
			水田		畑				草地		林地				空地・その他			
			土地利用 占有率	平均収 穫量率	普通畑	主要樹種 および平均 収穫量率	樹園地	主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	草地の種 類および 平均収穫 量率	人工林	天然林	土地利用 占有率		主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率
余 興 町	1 類地	—																
	2 類地	1.12 1.22	2	A	90													
	3 類地	1.13 1.33 2.13	13	D	83						D	スギ 101						
	4 類地	1.42 1.43 2.33	24										A	ザツ				
	5 類地	1.53 1.54 2.43 2.44	121								D	スギ 95	A	ザツ				
	6 類地	3.54	5										B	マツ				
	7 類地	—																
	8 類地	—	4															
市町村計		169																
西 浅 井 町	1 類地	—																
	2 類地	1.12 2.32	2	A	95													
	3 類地	1.13 2.23 2.33	10	C	88								A	ザツ				
	4 類地	1.42 1.43 2.43 2.43	34								D	ヒノキ 95	B	ザツ				
	5 類地	1.53 2.44 2.54	14										A	マツ				
	6 類地	—																
	7 類地	—																
	8 類地	—	6															
市町村計		66																

市町村名	類地区区分 よび包含性 を示す式	面積	土地利用の現況											備考					
			水田		畑				草地		林地				その他				
			土地 占有 率	平均 収 穫 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 占 有 率	草 地 の 種 類 お よ び 平 均 収 穫 率	人工林		天然林		土 地 利 用 占 有 率				
											土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 占 有 率			主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 率	
マ キ ノ 町	1 類 地	-																	
	2 類 地	1.12 1.22	1	A	90														
	3 類 地	1.13 1.23 1.33 2.13 2.23	14	B	83						D	スギ 90	B	ザツ					
	4 類 地	1.24 1.25 1.34 1.44	35				D	栗 85					A	ザツ					
	5 類 地	1.52 1.53 2.44 2.52	22										A	マツ					
	6 類 地	1.25 1.25 2.25 2.55	2.55	-															
	7 類 地		-																
	8 類 地		6																
市町村計		78																	
今 津 町	1 類 地	-																	
	2 類 地	1.12 1.22	6	A	95														
	3 類 地	1.13 1.23 1.33 2.13 2.23	12	C	86						D	スギ 97	A	ザツ					
	4 類 地	1.14 1.24 1.34 1.44	18								D	スギ 93	B	ザツ					
	5 類 地	1.52 1.53 1.54 2.44	74										A	ザツ					
	6 類 地		-																
	7 類 地		-																
	8 類 地		11																
市町村計		121																	

市町村名	類地区区分 おさ よる る 示 式		土 地 利 用 の 現 況											備 考			
			水 田		畑 地				草 地		林 地				空地・その他		
			土 利 占 有 率	平 均 収 穫 量 率	土 利 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 利 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 利 占 有 率	草 地 の 種 類 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 利 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 利 占 有 率		主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 利 占 有 率	
木 村	1 類 地	—															
	2 類 地	1.22	0														
	3 類 地	1.32 1.33 2.22 2.32	7	B	60												
	4 類 地	1.24 1.34 1.44 2.23	36								B	スギ 108	C	ザツ			
	5 類 地	1.53 1.24 2.44	113										A	ザツ			
	6 類 地	1.45 2.15 2.25 2.45	3										A	ザツ			
	7 類 地	—															
	8 類 地	8															
市町村計		167															
高 島 町	1 類 地	—															
	2 類 地	1.12 1.22	4	A	95												
	3 類 地	1.13 1.32 1.33 2.32	8	B	86								B	ザツ			
	4 類 地	1.14 1.24 1.42 1.43 2.23	26										A	ザツ			
	5 類 地	1.53 1.54 2.44 2.54	19										A	ザツ			
	6 類 地	—															
	7 類 地	—															
	8 類 地	6															
市町村計		63															

市町村名	類地区分		土地利用の現況											備考				
			水田		畑			草地		林地			空地・その他					
	面積	土地利用占有率	平均収獲量率	土地利用占有率	主要作物および平均収獲量率	土地利用占有率	主要樹種および平均収獲量率	土地利用占有率	草地の種類および平均収獲量率	土地利用占有率	主要樹種および平均収獲量率	土地利用占有率	主要樹種および平均収獲量率		土地利用占有率			
安曇川町	1類地																	
	2類地	1.12 1.22	6	A	95													
	3類地	1.13 2.12 1.23 2.22 1.33 2.32	13	B	86							A	ザツ					
	4類地	1.14 2.13 1.24 2.42 1.44 2.43	12									A	マツ					
	5類地																	
	6類地																	
	7類地																	
	8類地		17															
市町村計			48															
新旭町	1類地																	
	2類地	1.12 1.22	2	A	98													
	3類地	1.13 1.33	8	B	90													
	4類地	1.14 1.43 1.24 1.42	6									A	マツ					
	5類地																	
	6類地																	
	7類地																	
	8類地		17															
市町村計			33															